

歯学部 へ行こう!!

2023

意外と知らない「歯学部」特集



日本私立歯科大学 協会の活動

私立大学の精神である自立性を尊重しながら、私立歯科大学・歯学部 の振興を図り、歯科医学の教育・研究・医療の発展のため、下記の事業を行っています。

- 1 会報の刊行
- 2 私立歯科大学の教職員の研修
- 3 私学関係諸団体との提携、協力・援助
- 4 歯科医学・歯科医療の現状及び将来に関する情報発信
- 5 私立歯科大学における教育・研究、財政基盤、管理運営に関する調査研究

一般社団法人 日本私立歯科大学協会

協会のホームページでは、「全国17の私立歯科大学・歯学部の募集要項」を始め、「歯科医学、歯科医療の現状・将来」、「協会の概要」などの情報を発信しています。

HPは
コチラ
▶▶▶



意外と
知らない

『 歯科医師 』という職業

YouTubeで公開中の動画(約2分)はコチラ

中高生でもわかりやすい内容になっています！
ぜひご覧ください。



日本の歯学部って面白い！ 私立歯科大学特集

国が指定する日本の歯科医学教育のカリキュラムは、6年間の教育のうちの約6割。残りの4割は各大学の個性に任されているのだそう。このサイトでは、各大学が個性を発揮するその4割の魅力の特集！ぜひ、ご自身の個性にぴったり合う大学選びの参考にしてください。



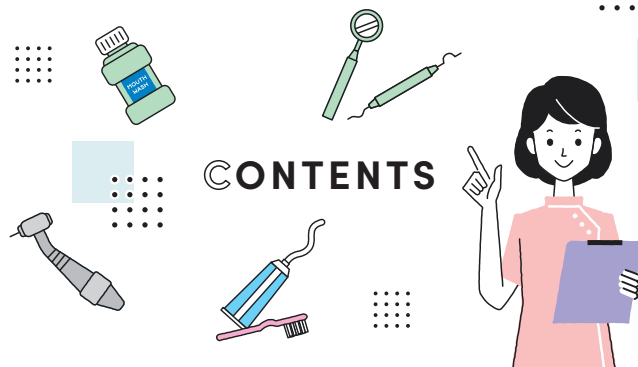
僕とワタシのイイはなし

全国に17校ある私立の歯科大学。

それぞれの大学の先輩たちが
どんなドラマをもって歯科医を志しているのか？
どんな思いをもって歯科医療に従事しているのか？を、

17人へのインタビュー動画として公開！

歯科に関わる
エピソードも
ドラマ化!!



歯科医師をめざすみなさんへ

02

歯科医師になりたい！未来の自分探し

03

- 歯科医師になるには？
- 歯学部での学びとは？
- 歯学部の歴史
- 歯科医師に求められる役割とは？
- 歯科医師のイメージとは？
- 女性歯科医師が活躍しています！

「治療」から「予防」へ 歯科医師の社会的使命とは？

24

- 日本でも予防歯科の概念が浸透中
- むし歯より怖い歯周病
- 口腔ケアで長生きを
- がん治療における歯科医師の役割
- 地域や行政で活躍する歯科医師
- 8020（ハチマルニイマル）運動とは？
- 今後の歯科医療とは？
- オンライン歯科診療とは？
- 新型コロナウイルスQ&A
- 新たな社会貢献！

データで見る歯科医師と歯科医療

39

歯科大学・歯学部MAP

44

大学紹介ページ

46

- | | | | |
|----------------|----|------------------|----|
| ● 北海道医療大学 | 47 | ● 鶴見大学 | 51 |
| ● 岩手医科大学 | 47 | ● 神奈川歯科大学 | 52 |
| ● 奥羽大学 | 48 | ● 日本歯科大学 新潟生命歯学部 | 52 |
| ● 明海大学 | 48 | ● 松本歯科大学 | 53 |
| ● 日本大学松戸歯学部 | 49 | ● 朝日大学 | 53 |
| ● 東京歯科大学 | 49 | ● 愛知学院大学 | 54 |
| ● 日本大学 | 50 | ● 大阪歯科大学 | 54 |
| ● 日本歯科大学 生命歯学部 | 50 | ● 福岡歯科大学 | 55 |
| ● 昭和大学 | 51 | | |



歯科医師をめざす みなさんへ

その昔、歯科医師といえば

“むし歯を治す”ことを主な生業としていました。

それが近年では、一般歯科(むし歯・歯周病などの治療)、
予防歯科、矯正、インプラント、審美、ホワイトニング、
小児歯科など歯の治療はもちろん、口腔内や舌、
また顎に関する治療やサポートなど、

歯科医師＝歯科医療によって

人々の健康で快適な生活を守る『**口腔の専門家**』として、
その活躍のフィールドはどんどん広がってきています。

8020運動(※)など予防歯科の重要性が叫ばれる中、
口腔の健康を支えていかなければならない歯科医師は、
超高齢社会を迎える日本において
ますます重要な役割を担っていくことでしょう。

食べることは生きることの基本です。

歯科医師は、年をとっても自分の歯で噛める、食事ができる、という
『生きる希望』を与えてあげられる
とてもやりがいのある素晴らしい職業なのです。

この冊子は、歯科を取り巻く環境や、

歯科医師に求められる役割など、

歯科の“**本当の姿**”を知っていただくために作成しました。
歯科医師を志す高校生のみなさんの一助となれば幸いです。

※8020(ハチマルニイマル)運動:

厚生労働省と
公益社団法人日本歯科医師会が推進している
「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。
詳細は[32ページ]で後述。



歯科医師に なりたい！ 未来の自分探し



歯科医師になるには？

歯科医師になるには、歯科大学や大学の歯学部で6年間、必要な知識と技術を身に付け、国(厚生労働省)が実施する歯科医師国家試験を受験し、合格しなければなりません。また歯科医師国家試験合格者は、歯科医師法により「診療に従事しようとする歯科医師は、1年以上、歯学もしくは医学を履修する課程を置く大学に附属する病院(歯科医業を行わない者を除く)、または厚生労働大臣の指定する病院もしくは診療所において、臨床研修を受けなければならない」と定められています。

※基礎研究など、“診療に一切従事しない”という人であれば、
臨床研修を受ける必要はありません

1 歯科医師になりたい!

2 歯科大学・歯学部へ入学 6年間の学習が必要!

3 歯科医師国家試験受験 何回でも受験可能!

4 歯科医師免許取得

5 臨床研修医 最低一年間の研修が必要!



or



歯学部 の 学びとは？

歯学部では歯科医師に必要な知識や技術を身につけるため6年間の学びが必要です。歯学部だからといって“歯や口のことだけ”を勉強するわけではありません。

人間にとって歯や口は食べ物を摂取する入口であり、生命維持に欠かせない器官です。また、「食べる」以外に、「呼吸」・「話す」・「笑う」といった人間らしい暮らしを維持するための大切な器官でもあります。ですから歯科医師は、顎・顔面・口腔領域といった専門知識以外に、全身(骨、筋肉、血管、神経、臓器)についての理解が必要です。その上、実習を含む専門領域の勉強も加わってきます。

歯学部での6年間は、勉強することが多く、あっという間の学生生活になるかもしれませんね。

Column

歯学部＝歯科医師を養成する学科(6年制)のみと思われがちですが、実は4年制の歯科医師養成以外の学科もあります。近年の歯科医療・歯科医学の多様化、細分化によって、歯科衛生士や歯科技工士を養成する4年制学科も増えてきました。学びの内容や取得できる資格は各大学によって異なりますが、口腔保健学科や口腔工学科等という学科名で、歯学部、看護福祉学部、医療福祉学部、保健福祉学部などに分類されています。

歯科衛生士
歯科技工師
4年制

歯科医師
6年制



歯学部 6年制 の 学び

※あくまで一例です。

1
年次

歯科医学に向けた準備教育と 歯科医師への心構えを学ぶ

これから学ぶ歯科医学に関しての基礎科目・専門科目への準備教育とともに、歯科医学生としての自覚や、歯科医師への心構え、医療従事者に欠かせない倫理観や豊かな人間性などを高める学修を行います。

2
年次

歯科医学の基礎を固め、実習・演習がスタート

歯や口腔だけでなく、全身の構造や機能についての基礎知識を身につけ、一部専門知識についての学修を始めます。また、歯科医療で実際に使用される材料や器具・機器を用いての実習・演習、人体の解剖実習などの実践的な学修も行います。

3
年次

知識と技術力を高め、実践的な学びが増加

基礎知識をさらに深め、実習・演習で技術力を磨きます。また、1・2年次に学んだ知識を礎に、歯科疾患の原因・症状・診断・診察・治療方法を探るなど「歯科医師」となるための実践的な学びが増えてきます。

4
年次

専門かつ幅広い知識・技術を身につけ、 臨床実習に備える

これまで身につけた知識・技術の応用と、様々な症例への経験を通し、歯科医療についての専門的かつ幅広い知識・技術を習得していきます。また、5年次からの臨床実習に備え、歯科医師に必要な態度なども身につけていきます。

共用試験への合格を目指します

共用試験とは、5～6年次に行われる歯科医院や歯科医療センターなどでの臨床実習において、歯学部生が一定のレベル(知識・技能・態度など)に到達していることを保証するための試験で(社)医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)が実施しています。この共用試験に合格すると5年次の臨床実習が履修可能になります。

5
年次

現場で実際の患者さんとの対応方法を学ぶ

これまで学んできた知識・技術・態度を体系的に整理した上で、歯科病院等で臨床実習に臨みます。スチューデントデンティストとして、指導医のもと診療の補助や詰め物を入れるなどの実際の患者さんとのやりとり(診察・診断・治療)を通して臨床能力を養います。

6
年次

学んできたことの総まとめと国家試験対策

5年次に引き続き、歯科病院等でさまざまな症例を学びながら、実践的な知識と高度な技能を習得。さらに習得した知識や技能の総まとめと、歯科医師国家試験の合格に向けた過去問対策や模擬試験などを行います。

歯学部 の 歴史

日本の近代歯科医学教育は私立から始まりました。日本で歯科医師法(旧制)が制定されたのは1906(明治39)年。歯科医師の業務と名称の独占資格が得られた記念すべき年です。同時に公立私立歯科医学学校指定規則が施行され、歯科医学教育も正式に発足されました。しかし、明治政府の「富国強兵」に「歯科は関わりない」として、国は歯科医学学校の設立には動かなかったのです。その状況を憂い、有志が私立の歯科医学学校を開校したのが1907(明治40)年のこと。以来、常に歯学は私学が先行してきました。

現在でも、全国に29ある歯学部のうち17校が私立であり、日本で活躍する歯科医師の75%は私立歯学部の出身です。

歯学部カリキュラムの変遷

1906(明治39)年に最初の歯科医師法が制定されてから今日まで、社会は目まぐるしく変化し、人々の生活や求められるニーズも多様化・複雑化してきました。急激に移り変わる社会とともに、歯学教育もさらなる「新しい学び」へとその形を変え続けています。

近年の歯学部カリキュラムの変遷

1991年	総合(統合)科目が新たに導入され、 6年一貫教育 へ(それまでは2年の進学課程と4年の専門課程に区分されていた)
2001年	歯科医療人として不可欠な態度・知識・技能などの指針を定めた「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」策定
2007年	「歯科医学教授要項」改訂により各大学で、 大学独自の特色あるカリキュラムが導入されるようになる
2010年	「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」一部改訂(①臨床能力の確保、②優れた歯科医師養成のための教育、③研究者の養成を提言)
2016年	歯科医師の専門性をさらに高めるため「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」一部改訂(チーム医療、地域包括ケアシステム、健康長寿社会などのニーズ に対応できる実践的臨床能力を有する歯科医師の養成を提言)
2022年	未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぐ活躍できる医療人の養成を目指し、「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」改訂

歯科医師に求められる役割とは

歯科医師は「歯」のみを診察する医師ではありません。顎・顔面・口腔領域を専門にしています。食べる・話す・表情をつくるなど、私たちの日常生活の基盤となる身体機能の維持に大きく貢献する仕事だと言えるでしょう。

臨床(※)では、口腔がんなどの腫瘍や外傷などに対応する口腔外科、食べる・話すなどの機能を改善する補綴科、インプラント科、予防歯科、小児歯科、高齢者歯科、矯正歯科、歯科放射線科、歯科麻酔科、顎関節診療科、病理診断科、さらには障害者歯科や摂食嚥下リハビリテーションなど多くの専門領域があるほか、再生医療のような研究領域や行政の場など、その活躍の場はどんどん広がってきています。

今から「これ」と決める必要はありません。皆さんは今後、大学生になって歯学を学びながら、将来の活躍の場を定めていくことができます。

歯科医師は専門知識と技術に加え、深い知性と温かな人間性を兼ね備えることが望まれる仕事です。

2011年の東日本大震災においても、全国の歯科医師などが、地震発生後にいち早く被災地へ赴き、被災者への歯科医療支援活動や身元確認のための歯牙鑑定を行いました。

また、現在の日本は超高齢社会であり、高齢者の方への専門的口腔ケアが欠かせません。専門的口腔ケアの必要性が人の寿命や生活の質に直接的に影響を与える時代です。時代のニーズにあった新しい知識と技術を持った歯科医師が求められています。

(※) 臨床…病院などで患者さんの診療にあたること。

歯科医学・歯科医療の役割・重要性や
歯科教育についての情報が満載

「日本私立歯科大学協会」HPはコチラ
<https://www.shikadaikyo.or.jp/>

CHECK!

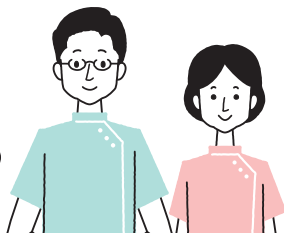


私立大学・歯学部のも

魅力

1

活躍している 人が多い



前述の「歯学部の歴史」の通り、日本の近代歯科医学教育は私立から始まりました。実に日本で活躍する歯科医師の約75%が私立歯学部出身者であり、世界で活躍している歯科医師が多いのも私立歯学部の特徴といわれています。

活躍している人が多いということは就職・転職・開業時にはもちろん、新しい学びのためのセミナーや海外留学などのときにもOB・OGを訪問して情報を集めたり、仕事を紹介してもらったりなど人脈を活用できるということ。社会では人脈は特に貴重な財産です。

魅力

2

サポートが 充実



近年は国公立大学でも学生サポートに力を入れている大学が増えてきていますが、やはり私立大学の手厚さやきめ細かさにと比べるとまだまだ差がありそうです。

私立大学では学費が全額無料になる特待生制度をはじめ、大学生活を送る上での生活面のサポート、海外への留学や研修制度、卒業後の開業フォローアップなど各大学が特色を活かしたさまざまな制度を設けています。ぜひチェックしてみてくださいね!

魅力とは?

魅力

3

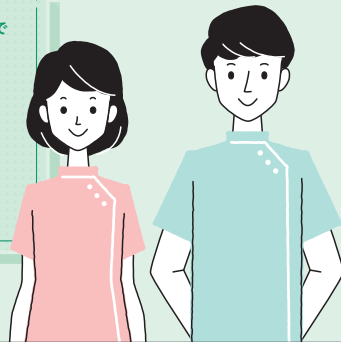
キャンパス ライフが充実



歯科医師を目指すのだからもちろん勉強が一番大事!ですが、勉強以外の学生生活も楽しみたいですよね? 私立大学ではクラブ・サークル活動が盛んだったり、学内におしゃれなカフェがあったり、女性専用のパウダールーム(化粧室)や、きれいな自習スペースのある図書館があったり、学生が快適に過ごせるようキャンパス内の設備もたいへん充実しています。

これから6年間を過ごすかもしれない場所ですから、カリキュラム以外のこともしっかりチェックしておきましょう!

家から近いから、学費が安いから、だけで志望校を決定するのはもったいない!
たくさんの大学の情報を見て
実際にオープンキャンパスへ行って
先生や先輩たちの話を聞いて
自分に合った大学を
選んでくださいね!

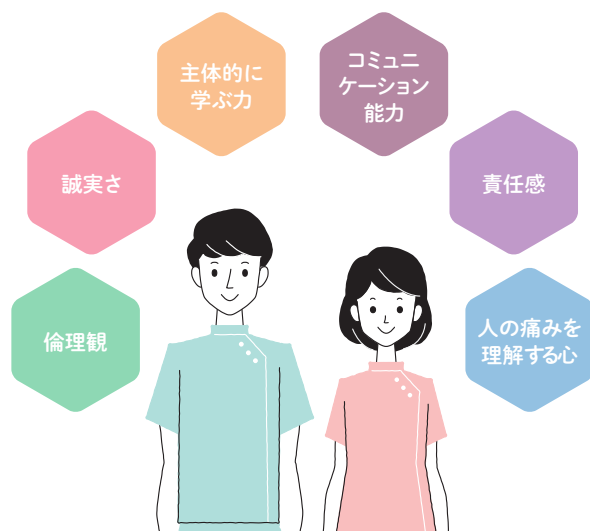


日本の私立歯科大学(全17校)の個性と魅力をたっぷり紹介!

日本の歯学部って面白い!

私立歯科大学特集サイトはこちら
<https://whitecross.jp/university>





歯科医師には、高度な専門知識や技能のほかに、医療に携わるプロフェッショナルとして様々な資質が求められます。

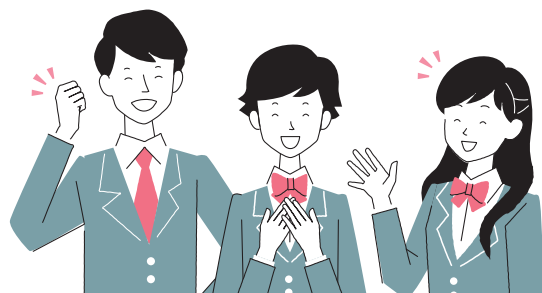
生涯にわたって主体的に自己研鑽に努められること。

患者やその家族、一緒に働いているスタッフたちとしっかりコミュニケーションが取れること。

医療倫理を守り、患者の痛みや悩み・不安に誠実に向き合えること。

人の命と健康を守る歯科医師として職責を自覚していること。

これらの資質は高校生の今でも身につけたり、高めたりできるものだと思います。積極的に人とコミュニケーションをとったり、苦手なことに取り組んだり、色々な物や事を見たり、聞いたりしながら、自ら“学ぶ力”や豊かな“人間力”をしっかり養っていきましょう。



あなたはどんな

「歯科医師」

に向いている？



さて、ひとえに“歯科医師”といっても、

勤務している歯科医院や歯科医師自身によっても力を入れている分野(得意分野)は異なります。

ここではあなたの性格からあなたがどんなタイプの

歯科医師に向いているかを

歯科医療の分野ごとに分けて見ていきたいと思います。

簡単な性格診断テストのようなものですから、

「これがすべて」というわけでは決してありませんので、

気軽に楽しんでやってみてください。

Q 自分の性格にあてはまるものが多いと思うタイプを1つ選んでください。

- ☐ 筋道を立てて考えるのが好き
- ☐ 「自然」に手を加えるのは好まない
- ☐ ルールは守るべきものだ

A タイプ

- ☐ 芸術に関心が高い
- ☐ 感情表現が豊かなほうだ
- ☐ 人と長く付き合える

B タイプ

- ☐ ものづくりが好き・得意
- ☐ コツコツ派だ
- ☐ 伝統を大切にする

C タイプ

- ☐ 流行には敏感なほうだ
- ☐ コンプレックスは個性だと思う
- ☐ 美容・メイク・おしゃれに興味がある

D タイプ

- ☐ 結果がでるとやる気があがる
- ☐ 些細なことにこだわらない
- ☐ 薬の知識に興味がある

E タイプ

- ☐ 明るく前向きな性格である
- ☐ 人に関わるのが好き
- ☐ 困難には柔軟に立ち向かえる

F タイプ

A

タイプ

予防管理型歯科医療

虫歯や歯周病にかからないように、またかかってしまったとしても、治療後に再発しないように予防することを予防歯科といい、その予防計画を個人ごとに提案し、実践させるのが予防管理型の歯科医療です。

なぜこの歯ブラシを使うのか、なぜ歯科医院でのクリーニングが必要なのか、なぜ食生活の改善が予防につながるのか、などの歯を長持ちさせるルールをそれぞれの患者さんへ順序立ててわかりやすく説明し、しっかり理解・実践してもらう必要があります。

どれだけ話が上手でも論理性が欠けてしまうと人は納得してくれません。筋道をしっかり立てて相手を説得できるこのタイプの人は『予防管理型歯科医療』に携わっていくことをおすすめします。



C

タイプ

補綴・総義歯歯科医療

補綴治療とは、欠けてしまった歯や失ってしまった歯を、見た目・かみ合わせなどを考慮してクラウン(かぶせ物)や差し歯、入れ歯といった人工の歯で補う治療です。

古くは古代エジプトのミイラから歯を削って金を詰めるなどした治療痕が発見されているほか、日本でも奈良時代から入れ歯が使われていたとされており、伝統的かつ歴史のある治療法です。

これらの治療は歯科治療の“基本”ともいわれ、どんなに最新の機械を導入しても、歯科医師がむし歯を取り除き、形を整えるという基本的な治療を正しく精密に行わなければ、長期的に機能できる修復物を作ることとはできません。基本の重要性をしっかり理解し、知識・技術をコツコツと積み上げ、一つひとつの作業を丁寧にやっていける謙虚で誠実な“ものづくり人間”タイプが求められます。



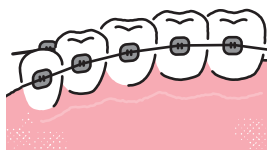
B

タイプ

矯正歯科医療

矯正歯科では、矯正装置を使ってゆっくり不正咬合(出っ歯、すきっ歯、受け口、八重歯など)の治療を行います。このとき、見た目の美しさ(審美)だけでなく健康的に美味しくものが噛めるといった噛み合わせ(機能)も非常に重要で、この審美と機能の両方が伴うことが治療のゴールとなります。

矯正歯科医療では、患者一人ひとりの希望と検査による科学的データの両方を重要視し、どちらかにかたよることのないバランスの取れた治療が求められます。また歯や口元は人の印象を決める重要なポイントの一つですから美的センスも重要です。審美と機能、患者の希望と科学的データ…そのすべてを見極め、完璧な治療を行う。こだわりが強く、完璧さを求める芸術家肌のあなたはそのセンスとバランス感覚を武器に矯正歯科医療に携わってみたいではないでしょうか。



D

タイプ

審美・ホワイトニング 歯科医療

審美歯科は、虫歯や歯周病の治療などからさらにもう一歩進んで、美しく健康な歯・口元をつくることを目的とした歯科治療です。魅力的な笑顔を生み出すことで、患者のコンプレックス解消をサポートし、外見だけでなく心のケアも担います。

治療は主に、歯を白くするホワイトニング治療や、歯の表面を削って薄い人工歯を貼り付けるラミネートベニアなどの補綴治療、歯茎のラインを整える歯肉整形など。またヨーロッパやアメリカなどで流行している“ティースジュエリー(歯の表面に特殊な接着剤を使ってクリスタルやダイヤモンド、エメラルドなどのストーンを付ける)”も新しいお洒落として注目されています。

美意識の高い患者が多いので常にアンテナを張り、最新の治療法や美容情報などをキャッチするとともに高い技術力と美容センスが求められます。



E

タイプ

口腔外科医療

口腔外科では、歯や歯肉の病気だけでなく、口腔を構成する組織（頬、舌、顎、唇、目に見えない口の中の組織部、骨など）の病気の治療を行います。具体的には顎の関節に痛みなどが生じる顎関節症や、麻酔が必要な親知らずの抜歯、口腔の腫瘍、インプラント、また糖尿病や高血圧など全身的な疾患を持つ患者の歯科治療も行います。

口腔外科では、一般の歯科医院では治療が難しい重度の患者や全身疾患を抱えた高齢の患者も多いため、治療においては口腔内だけではなく全身状態の十分な把握と適切な処置が求められます。そのためには的確な診断を下す洞察力と優れた分析力、問題解決能力などが必須。目標に向かってしっかり努力できると
このタイプの人には、ぜひ
チャレンジしてほしい分野です。



F

タイプ

訪問歯科診療

訪問歯科診療は、通院が困難な高齢者や障害者などを対象に、歯科医師が直接自宅や福祉施設を訪問し、むし歯や歯周病などの治療のほか、入れ歯や口の中の状態をチェックする検診や口腔ケアなどを行います。

訪問歯科では、歯科治療を行う上で、患者が抱える様々な疾患（脳血管障害をはじめ、骨折、認知症、心臓病、リウマチなど）に関する理解とともに、内服薬などに関する知識も必要になります。患者の状態によって臨機応変な対応はもちろん想定外のことが起こった際にしっかり対処できる機転も必要です。また、ときには、訪問診療を行う医師や看護師、介護福祉士やケアマネジャーなど他の職種のの人たちと連携を取って治療を進めていかなくてはならないので、コミュニケーション能力も大切です。



歯科医師

Q & A



Q 手先が不器用でも 歯科医師になれるの？

A 狭い口の中で様々な器具を使って治療を行うので、手先の器用さは歯科医師の適性のひとつといえますが、不器用な人でもしっかりトレーニングを重ねれば必ず一定のレベルになることができます。何ごとも努力が大切！

Q 歯科医師免許を取得できれば 卒業後すぐに開業できるの？

A 2006（平成18）年より歯科大学及び歯学部を卒業し、歯科医師国家試験に合格した者は全員、臨床研修施設（大学病院等）で1年以上の研修を積むことが義務づけられました。よって、開業するためには研修医として医療現場で実績を得る必要があります。

Q 研修が終わったら みんな歯科医師になるの？

A 勤務医や開業医として歯科医療に従事する、というのが一般的なコースですが、他にも厚生労働省や地方自治体、保健所などで地域保健に携わる、大学院や研究所などで研究者・学者として活躍する、など様々な進路があります。

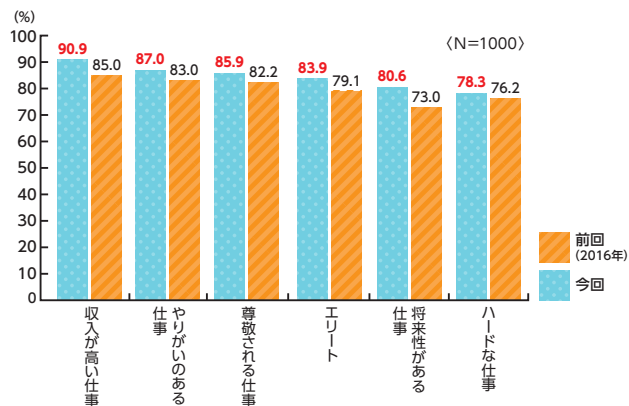
また研究者や学者など、“診療に一切従事しない”という人であれば、1年間の臨床研修を受ける必要はありません。

歯科医師のイメージとは？

歯科医師は「高収入」で「やりがいのある仕事」！

「歯科医師」という仕事・職業に対するイメージを一般の人1,000人に聞いた(社)日本私立歯科大学協会(※)の調査によると、最も割合が高かったのは「高収入(90.9%)」で、次に「やりがいのある仕事(87.0%)」、「尊敬される仕事(85.9%)」、「エリート(83.9%)」、「将来性がある仕事(80.6%)」「ハード(78.3%)」、と続いており、一般の人が歯科医師に対してとても良いイメージを抱いていることがわかります。

●(表1)(一社)日本私立歯科大学協会、「歯科医院」「歯科医師」「オーラルケア」に関する第5回調査2020

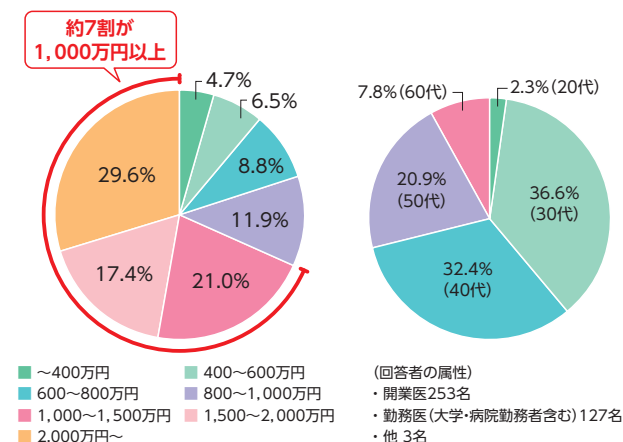


(※)(一社)日本私立歯科大学協会
「歯科医院」「歯科医師」「オーラルケア」に関する第5回調査2020

気になる歯科医師の給料・年収は？

一時、マスコミによる歯科医師の『ワーキングプア』が取り沙汰されていましたが、実態はどうか、皆さんも正直気になるところかと思います。

歯科医師向け情報サイト「WHITE CROSS」が2021年に行った歯科医師の年収に関するアンケート調査によると、実に歯科医師の約7割が年収1,000万円以上、3割が2,000万円以上という現状が明らかになりました。

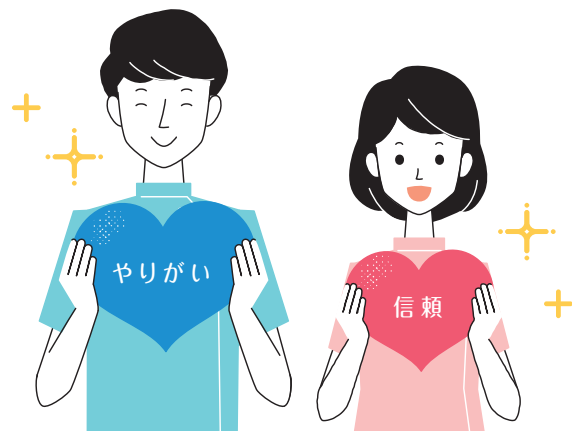


厚生労働省の賃金構造基本統計調査(※)による主な専門職の職業別年収ランキングでも歯科医師は8位(平均年収約787万円)にランクインしています。

7割が年収1,000万円なのに意外と低いなと思った人もいるかもしれませんが、この中には平均月収12～15万円と言われる1年目の研修生や時短勤務で育児を行っている女性歯科医師なども含まれているということも忘れてはいけません。

女性歯科医師の数は年々増えており、それに伴って歯科業界でも出産・育児等の休暇・休業制度が整い、時短勤務の利用や、午前中だけ、週3回だけなど勤務形態も多様化しました。データだけを見ると昔に比べて歯科医全体の年収が下がっているように見える(見えていた)かもしれませんが、この裏には、**男性社会だった“歯科医師”の社会に女性が進出し、自由にその人らしく活躍できる環境が整ってきたという素晴らしいプラスの側面があった**のです。

※「厚生労働省令和3年 賃金構造基本統計調査」



歯科医師の就職率100%! 生涯続けられる仕事!

歯科医師国家試験は近年、難易度を上げて合格者を絞る傾向にあります。2023年の合格率は63.5% (新卒者は77.3%) とやや難関となっています。しかし、歯科医師国家試験は卒業後毎年の受験が可能です。歯科医師免許を取得すれば歯科医師の求人は多く、私立歯科大・歯学部卒の求人倍率は8.72倍(※)となっています。また、個人開業を含め歯科医師の就職率は100%(※)となっており、先行きが不透明な昨今においても「歯科医師国家資格」は大変心強い資格といえます。

■2022年3月卒業者 求人倍率(比較)

◎私立歯科大・歯学部卒業者 (14歯学部)

卒業生数	求人件数	求人倍率*
1,181件	10,301件	8.72倍

※一般社団法人 日本私立歯科大学協会調べ

◎大学卒業者

民間企業就職希望者	求人総数	求人倍率*
40.5万人	67.6万人	1.50倍

※株式会社リクルートリクルートワークス研究所調べ

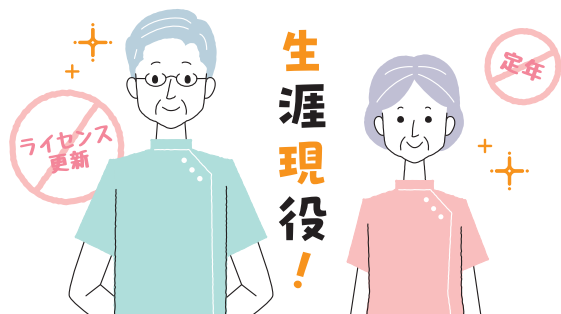
* 求人倍率…求職者1人に対して何件の求人があるかを示す数値。

高いと学生の売り手市場となる。

約6倍の
求人倍率!

歯科医師は生涯続けられる仕事!

歯科医師免許は、ライセンスの更新や定年のない生涯有効な国家資格です。視力や体力などの問題がなければ本人次第でいつまでも仕事を続けることができます。2020年の厚生労働省の調査によると、歯科医院で働いている70歳以上の歯科医師は7千人超もいます。元気で定年で退職を余儀なくされ、働きたくてもなかなか働ける場所が見つからない…というこのご時世、やはり“手に職”を持っている歯科医師はかなり恵まれた環境にあるようです。どこで治療を受けても料金は一律という日本の保険制度のもと、歯科医師は長期的にもとても安定した職業なのです。



歯科医師不足の時代が来る!?

2022年時点の歯科医師数は約10万7千人。そのうち約6万7千人が歯科医院の開設者または法人の代表者、いわゆる“開業医”なのですが、この開業歯科医の約半数が60歳以上という歯科医の高齢化が近年、問題化してきています。

年々増加傾向にあった歯科医師数ですが、2025年頃から高齢歯科医のリタイア者増加によって歯科医師数が減少に転じ、10年後には『歯科医不足の時代が来るのでは?』という見方が急速に広がってきています。

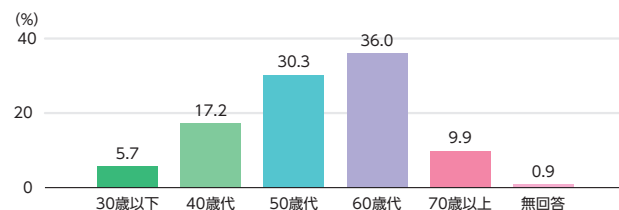
歯科医師過剰と言われている今でさえ、地域に歯科医院や歯科医師が少なく、歯科医療を受けられない「歯科医療過疎地区」が全国に1,205地区(※1)あり、歯科医師の地域的な偏在・不足が大きな問題となっています。このまま歯科医師が減少していけば、歯科医療過疎地区はさらに拡大していくことでしょう。

超高齢社会を迎えた日本において「健康寿命の延伸」に欠かせない予防歯科やオーラルフレイル(※2)の予防が、人々の“常識”となる日はきっとそう遠くはありません。

歯科医師の働くフィールドも歯科医院から介護福祉施設やリハビリテーション施設、患者宅への訪問歯科診療へと広がってきています。需要はあるのに、歯科医師がいない…。圧倒的な歯科医不足の未来は、すぐそこまで迫っているといっても過言ではないでしょう。

地域医療の一翼を担う若手の歯科医師が全国各地域で望まれています。

■歯科診療所管理者の年代



地域包括ケアシステムにおける「かかりつけ歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」(2020年3月)に関する調査(日本歯科総研究機構)より

※1 厚生労働省「無歯科医地区等調査(R元年)」より、歯科医療機関のない地域「無歯科医地区」は777地区、無歯科医地区に準じた歯科医療の確保が必要な「準無歯科医地区」は428地区となっている。

※2 「歯や口のはたらきの衰え」を意味する言葉(33ページ参照)

生まれ変わっても 歯科医師になりたいですか？

歯学部や歯科大学を目指している皆さんは日々、
大学合格に向けて勉強に勤しんでいることと思います。

でも、なんとなくやる気がでない…、
そんな日もあるし、あっても良いと思います。

焦ってばかりでうまく前に進めない…、
そんなときには、将来の自分の姿を想像してみませんか？

生まれ変わっても歯科医師になりたいですか？

歯科界のトップで活躍している歯科医師の先生たちに聞いたこの素朴な質問。歯科
医師の先生をととても身近に感じられる面白い内容でしたので皆さんにも一部ご紹介し
たいと思います。

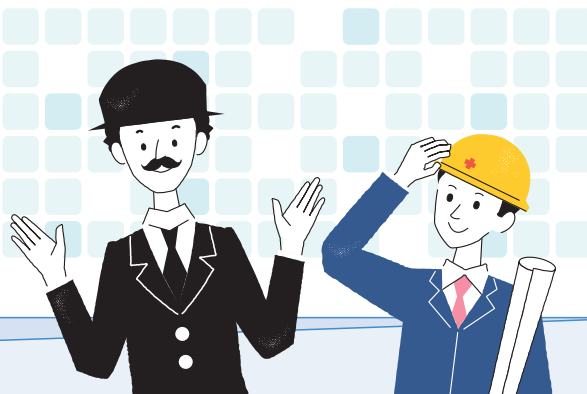
【別の仕事をやってみたい派】

歯科医師としては十分に楽し
んだので、昔あこがれた喜劇
役者かな。

歯科医師になってもいいかな
とも思うが、若いころに憧れた
建築家になってみたい。

職業も含め、女でなく男になる
など、今と全く別の生き方をし
てみたい。演歌の主人公のよう
な人生にも憧れる。

歯科の仕事は素晴らしいと断
言できるが、職業の選択肢は
広いので、他の仕事に挑戦し
てみたいという想いもある。



【もう一度歯科医師になりたい派】

何年たっても患者さんから喜ん
でいただける職業である、歯
科医師になりたいと思う。

生まれ変わっても、健康長寿
に大きく関われる歯科医師に
なりたい。

生まれ変わっても歯科医師
になりたい。やりがいのある
いい仕事だと思う。臨床をす
るために残された時間は非
常に少ないので、一人ずつ
大切に治したい。

ぜひ次も歯科医師の人生を
歩みたいと思うが、できれば
その際はもっと早く世界に目
覚め、大学時代から海外で
学ぶ機会を持てたらと思う。

やりたいことを全て成し遂げる
ことはできないだろうと思うの
で、もう一度歯科医師になっ
て、その続きをやり遂げたい。
また、未来の新しい歯科医療
を見てみたい。

歯科は、科学的な根拠を基
に機能と審美を手作業で両
立する唯一の医療。評価もす
ぐに出るので、やりがいのあ
る仕事だと思う。この醍醐味
を知ってしまったので、また
歯科医師を天職として選び
たい。

歯科医療はアートとサイエンスが融合した素晴ら
しい仕事。歯科医師は天職だともっている。

歯科医師として満足のいく仕事ができたら、違う仕事をしてみたいとい
う先生。やりがいを知ってしまったからもう一度歯科医師になりたいという
先生。どちらの夢もとても素敵です。

日々、教科書や難しい参考書ばかり読んでいては息切れしてしまいます
から、こういった先輩方の“人となり”が見える本は楽しく読めて、息抜きに
もなります。また“こんな先生になりたい!”と夢や目標がはっきり見えてモチ
ベーションのアップにもつながるでしょう。歯科医師を目指している人はもち
ろん、迷っている…という人も、迷いや不安を解消するきっかけとなるかも
しれません。

皆さんが、この先生たちと同じように「やりきった」と思えるような天職に
めぐり合えることを願っています。

日本歯科新聞社編「歯科界の旗手20人 あの先生のライフスタイル」より一部抜粋して作成

女性歯科医師が活躍しています!

一昔前までは『歯科医師=男性』というイメージが一般的でしたが、近年、女性歯科医師の活躍が目立ってきています。

第116回歯科医師国家試験(2023年1月実施)では、男子合格者数は1083名(構成比54.0%、合格率59.2%)、女子合格者数は923名(同46.0%、同69.5%)と合格者数の4割以上を女子が占めており、年々その数は増加傾向にあります。また女子の合格率が10.3ポイント高くなっており、全般的に女子学生の方がまじめで成績もよく、留年や中退してしまう学生も少ない傾向にあるようです。

歯科医師は、男女の格差もあまり見られず、力仕事やハードな勤務もほとんどありません。また女性ならではのメリットや適性も多くあります。

メリット1



男性に比べて手が小さく
狭い口の中で細かな作業ができる

メリット2



女性ならではの
繊細な気づかいや気配り

メリット3



女性だからこそ
理解できる体調の相談

メリット4



子どもは男性より
女性に安心感を抱く など

子どもが対象の小児歯科、女性患者が多く美的センスが求められる矯正歯科、審美歯科、丁寧なコミュニケーションが必要とされる高齢者歯科などで女性歯科医師は多く活躍しています。

女性の社会進出が進んでいる昨今ですが、なかなか格差が是正されない会社・業界が多い中、歯科医師は、女性であることがデメリットにならない、むしろ女性であることがメリットになりえる職業のひとつなのではないでしょうか。

出産・子育て後もマイペースで働き続けられる

ほとんどの歯科大学・歯学部では、国家資格取得者の就職率は例年、男女を問わず100%となっているようです。ここ数年は、大学生の売り手市場が続いている就職戦線ですが、世界的にも経済状況は不安定でいつ悪化してもおかしくない状態です。就職氷河期といわれた厳しい時代においても、歯学部の就職率100%というのはかなり驚異的です。

また、歯科医師は国家資格で“手に職”を持つ技術職ですから、出産・育児などで休職しても十分な技術と臨床力があれば、復帰や再就職も難しくありません。

復帰後の働き方も、フルタイム、時短、パート、アルバイトなどさまざま。パートやアルバイトでもそれなりの収入が確保できるので(平均的な時給は2,000~3,000円程度)、子育てを優先したいという女性歯科医師の中には、「週3日だけ」「午前中だけ」など自分のペースで働き活躍している人がたくさんいます。医科の一部の診療科と比較しても、患者さん1人当たりの診療時間を要する歯科医療は一般的に計画診療や予約診療形態がとられているため、特定の時間に診療ができるという大きなメリットがあります。午前診療と午後診療の間の空き時間(2~3時間)を利用して買い物や家に戻って主婦の仕事をこなしているという人もいます。まさに歯科医師の仕事は女性に適した職業と言えます。

私立歯科大学・歯学部の

女子学生の割合は4割超で、

年々増加傾向にあるようです。

歯科医療現場での女性の活躍は、

世界的にも増加傾向で

北ヨーロッパ諸国では

女性歯科医の占める割合が

90%以上の国もあるんだとか!!



「治療」から「予防」へ 歯科医師の 社会的使命とは？



日本でも予防歯科の概念が浸透中

近年、日本でもむし歯や歯周病にかかる前に「予防」のために歯科医院へ通う『予防歯科』の意識が徐々に高まりつつあります。しかし、西ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国に比べると、定期受診によって歯科疾患を予防する習慣はまだ根付いていないといわれています。

2020年10月に日本私立歯科大学協会が発表した「歯科診療」に関する意識調査(※)で、「約1年以内に歯科医院へ通院した」という人の合計値は65.8%。

「歯科医院に通う(通った)目的(図1)」としては「むし歯の治療(46.1%)」が最多となっていますが、「歯のクリーニング(34.6%)」、「むし歯の予防(24.5%)」、「定期健診(23.4%)」など予防目的で歯科医院を利用するという声が目立ってきています。

また、「主にどのような時に歯科医院に行きますか?(図2)」という質問についても「健診などで定期的に受診している」が38.9%で最多。前回調査(2016年)の30.3%と比べて8ポイント以上の上昇となっており、予防歯科や定期的な歯科受診の考え方が広がってきている様子がうかがえます。

さらに、「歯科医院への通院経験がある」と答えた人のうち、「かかりつけ歯科医院がある」と答えた人は70.1%。前回調査と比べると約6ポイント上昇しており、「かかりつけ歯科医」の普及も進んでいるようです。

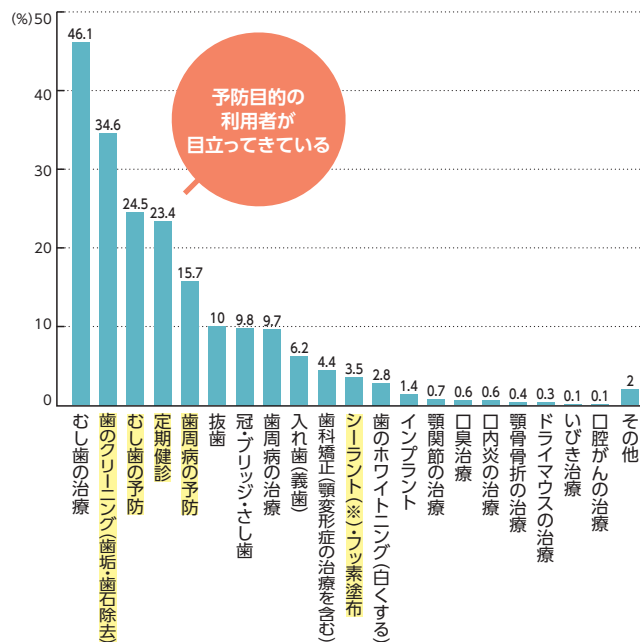
2022年6月には国民皆歯科健診の導入を政府が検討していることが話題となりました。

(※)2020年10月(一社)日本私立歯科大学協会「「歯科診療」および「歯科医師」に関する意識調査」◆調査対象:10~70代の男女1,000人

歯科医院は「痛くなってから行くところ」ではなく「予防のために行くところ」。

高校生の皆さんが大学で歯学を学び、歯科医師として活躍する頃には、それが“当たり前”という日本になっているかもしれません。

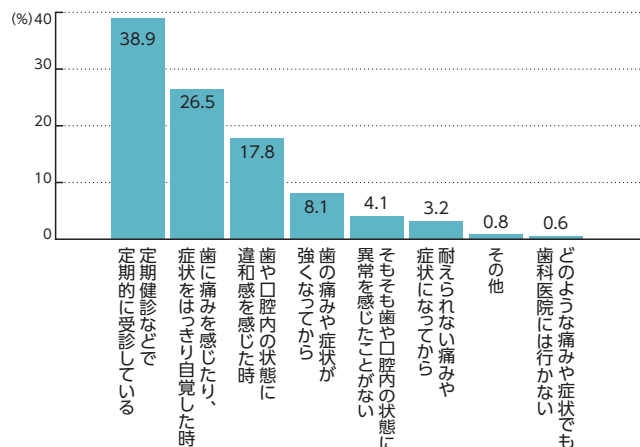
●(図1) 歯科医院に通う(通った)目的



(※)シーラント:小児によく行われるむし歯の予防処置

(n=973)

●(図2) どのような時に歯科医院に行くか



(n=1000)

むし歯より怖い歯周病

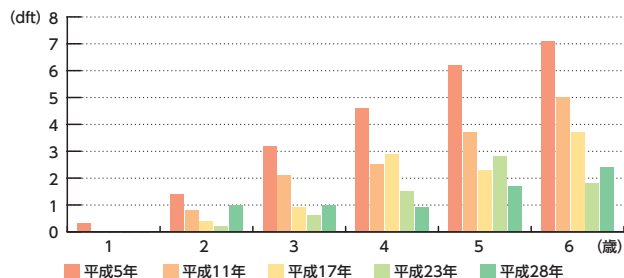
日本の子どもたちのむし歯は年々減少傾向にあります(表1)。これは予防歯科の浸透や、キシリトールなどの砂糖以外の甘味料の台頭、フッ素が入った歯磨き粉が普及したことなどが影響しているようです。

さて、「これで歯を失うことはなくなった」か、というところではありません。歯を失う最大の原因は「むし歯」ではなく「歯周病」だからです。

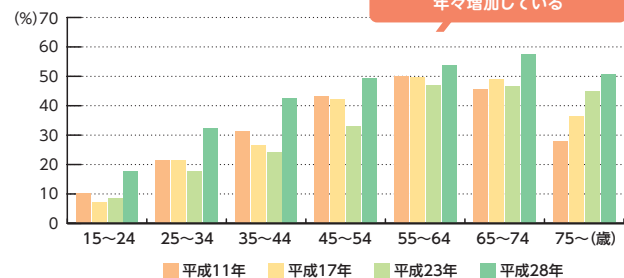
厚生労働省によると、程度の差はあっても20歳以上の8割が歯周病を患っているとされており、今や歯周病は「国民病」ともいわれています。この歯周病は実はとても怖い病気、痛みなどの自覚症状がないまま進行し、気づいたときには重症になってしまっているケースが少なくありません。

歯周病の原因のひとつには、歯周病原性細菌による感染症が挙げられます。

●(表1)乳歯の1人平均むし歯数の推移



●(表2)4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合の年次推移



(厚生労働省 歯科疾患実態調査2016)

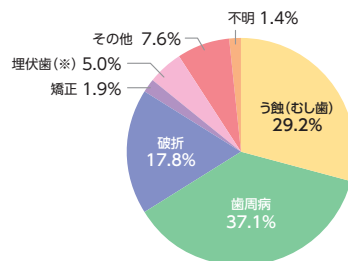
最近の研究では、歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることもわかってきました。歯周病菌は、腫れた歯肉から血管に入り込み、血液を介して全身にまわります。その結果、身体の一部にまで、さまざまな悪影響を及ぼすことになるのです。

歯科医師は「歯」の治療を行うというのが一般的なイメージですが、下記のように直接命に関わるような疾患も考慮しなくてはなりません。

“歯や口の健康を守ることが全身の健康を守ること”。

現在の超高齢社会において、歯科医師は、患者の歯を治すということだけでなく、口腔内の健康を守ることによって全身の健康を守るといっても重要な役割を担っているのです。

●歯を失う理由



※歯があごの骨や歯肉に埋まって出していない歯のこと

(2018年(財)8020推進財団調査)



口腔ケアで長生きを

2022年9月に総務省より発表された人口推計によると、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は過去最高の29.1%となり、日本は世界に類のない超高齢社会へと突入しました。

高齢化の進行に伴い、要介護高齢者が急速に増加する中、歯科医師などによる要介護高齢者への口腔ケアの重要性が注目されています。

注目されている理由のひとつが、日本の高齢者の死亡原因の上位である「肺炎」です。高齢者がかかる肺炎のほとんどは、嚥下（※1）機能障害のために、細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる「誤嚥性肺炎」で、この誤嚥性肺炎の予防には口腔ケアが非常に有効であるといわれています。

また不慮の事故による死因の1位となっている窒息事故。これも加齢による摂食（※2）嚥下機能が低下している高齢者が多数を占めており、そのほとんどが食事時の事故となっています。人間が生きていくには「食べること」が欠かせません。

私たちが健康で長生きするためには、食事をしっかり取れる状態をつくること、つまり定期的かつ適切な口腔ケアにより摂食嚥下機能を維持していくことがとても重要なのです。

（※1）嚥下（えんげ）…飲み下すこと。

（※2）摂食（せっしょく）…食べること。

Column

2022年6月、政権の重要課題や方向性を示す指針である「骨太の方針」に新しく「国民皆歯科健診」が盛り込まれることが閣議決定されました。2022年現在は、歯科健診の受診義務は乳幼児や小中高校生の学校健診などに限られており、18歳以上の大人に歯科健診義務はありません。歯科健診は本人の意思に委ねられていました。

この先、国民皆歯科健診が制度化されることになれば、口腔の健康増進が全身の健康につながり、健康寿命が延びる＝医療費の削減につながるといわれています。開始時期は3～5年後を目途に取り組みが進められる予定となっており、予防歯科の大切さも国民にどんどん浸透していくことでしょう。同時に歯科医師の活躍の場もますます増えていこうです。

がん治療における歯科医師の役割

がんは1981年より日本人の死因の1位となっており、日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。

口のがん＝「口腔がん」の発症者は年間約7,000人超、日本のがん患者の約1～3%程度となっていますが、その数は年々増加傾向にあり40年前の約4倍にまで増えています。口腔がんは胃がんや肺がんなどとは違い、目で直接見ることができるため早期発見しやすいがんです。初期であれば比較的簡単な治療で治すことができ、後遺症もほとんど残らないとされています。

しかし、日本では口腔がんの認知度が低く、進行するまで放置されているケースが多いため、患者の死亡率は30%を超えており、アメリカの約1.8倍にものぼります。

90年代から国を挙げて積極的な口腔がん対策が行われているアメリカなどの先進諸国では、早期発見・早期治療が徹底されており、罹患率（※）は日本同様に高くなっているものの死亡率は減少傾向となっています。そしてこの早期発見・早期治療に大きく寄与しているのが、口の中を一番見る機会が多い歯科医師なのです。

現在、検討が進められている国民皆歯科健診が制度化されれば、日本でもかかりつけの歯科医を持つ人が増え、定期的な診療を受けること＝予防歯科が当たり前の時代になっていくでしょう。近い将来、日本もアメリカと同じように口腔がんの早期発見・治療が進み、死亡率も減少に転じていくのではないのでしょうか。

（※）罹患率：一定期間に発生した特定の疾病患者の人口割合。

Column

歯科医が関わるのは口腔がんだけではなく。

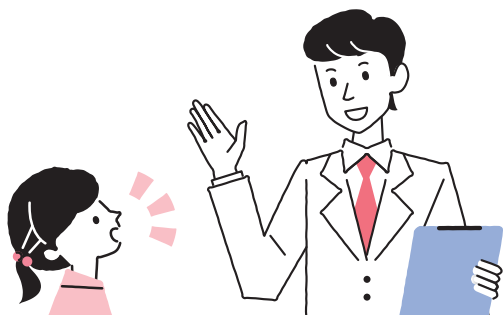
がんの治療中には、高い頻度で口の中に様々な副作用が現れます。この副作用は、痛みや味覚異常、歯の感染症などを引き起こし、がん治療そのものの邪魔をします。そのためアメリカなどではがんの治療前に歯科医師が口腔のチェックやケアを行うことが一般的となっています。この取り組みは、日本でも注目され「口腔ケアをしっかりと行うことが、がん治療の質をより高くする」というがん治療専門の医師も増えてきており、大学病院や総合病院などでは歯科医師も医師や看護師、薬剤師とともにチーム医療の一員として重要な役割を担うことが増えてきました。





学校歯科医

学校歯科医とは、大学以外の学校（小・中・高）で、歯科健康診断や歯科保健指導、歯科保健教育などの職務を担う歯科医師のこと。身分としては「学校の非常勤職員（公務員）」となり、普段は歯科医院等で勤務し、健診時に歯科衛生士とともに学校に向かうというのが一般的です。具体的な仕事は、●学校で生徒たちの口腔状況を記録し、歯科医院を受診する必要がある生徒へ通知を行う、●正しい歯の磨き方などについての保健指導、●歯・口の健康に関する特別活動等に必要な資料の提供及び助言などを行います。



産業歯科医

産業歯科医とは、特定の業務（塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素などの有害物質を取り扱う業務）に従事している労働者に対して健康診断を行う歯科医師のこと。これらの特定業務の従事者数が50人を超える事業所等の場合、事業主は定期的に歯科医師による健康診断を受けさせる必要があります。産業歯科医はそういった事業所に出向いたり、勤務先の歯科医院を受診してもらって、●歯・口の健康状態に問題がないかどうかの診断、●労働者の健康障害を防止するために必要なアドバイスなどを行います。



警察歯科医

警察歯科医とは、警察署からの要請を受け、事件や災害等で亡くなった身元不明者の歯型や、治療痕などから該当者の確認（歯牙鑑定）を行う歯科医師のこと。1985年の日航機墜落事故を契機に歯科医師が担う歯牙鑑定や法歯学（歯科法医学）が広く社会で認知されるようになりました。歯牙鑑定は2001年のアメリカ同時多発テロ、2004年のスマトラ沖大地震、2011年の東日本大震災等の犠牲者の身元確認においてもその有用性が証明されており（※）、社会的重要性の高さから2014年頃からは歯科医師国家試験に法歯学（歯科法医学）の内容が導入されています。

（※）○2001年のニューヨーク世界貿易センタービルの特典の際には身元が判明したご遺体の約35%、2004年のスマトラ島沖地震によるタイの津波災害では約56%が歯科所見により身元確認ができたとの報告があります。—日本歯科医師会「歯とお口のことなら何でもわかるテーマパーク8020」より

○警察庁の2016年2月末現在の集計によると、3県（岩手、宮城、福島）で身元を確認した遺体は1万5,749人。そのうち1万3,955人（88.6%）は身体的特徴や所持品が身元確認につながった。歯型による鑑定は1,248人（7.9%）で、DNA型は173人（1.1%）、指紋・掌紋は373人（2.4%）だった。—2016年3月13日 日本経済新聞「震災犠牲者の身元確認、DNAより歯型が有効」より一部抜粋



歯科医官

歯科医官とは、歯科医師免許を持った陸・海・空自衛隊の幹部自衛官のこと。歯科医官になるには、歯科大学や大学の歯学部で6年間教育を受け、歯科医師免許を取得後、歯科幹部候補生もしくは医科歯科幹部に志願し、試験に合格する必要があります。仕事は主に、●自衛隊病院や各部隊の駐屯地・基地の医務室において、自衛隊員やその家族の歯科健康診断・診療・健康管理を担います。そのほか、●国内外の災害派遣、●海外での医療支援活動、●紛争地域などでの難民救援活動、さらには●南極地域の観測支援行動などにも歯科医官が派出され、ともに行動する自衛隊員の歯科診療・健康管理をはじめ、現地でさまざまな歯科支援活動を行います。

8020(ハチマルニマル)運動とは？

8020運動とは、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。80歳は日本の男女を合わせた平均寿命、20本は親知らずを除く28本の永久歯のうち自分の歯が20本残っていれば、ほとんどの食品を不自由なく噛んで食べられるといわれており、この運動は1989年から厚生労働省と日本歯科医師会によって推進されています。

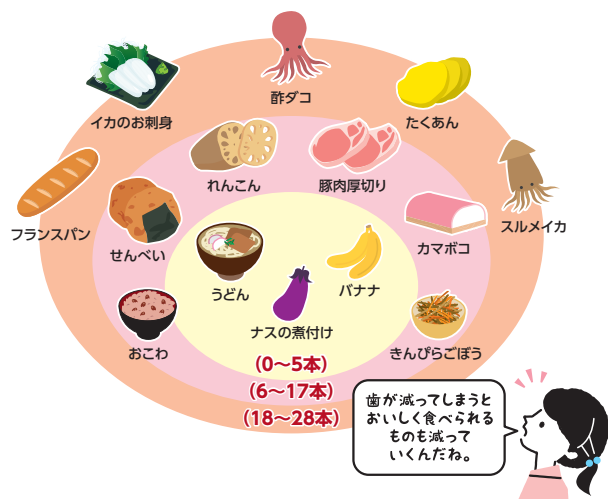
厚生労働省で5年ごとに行われている「歯科疾患実態調査」によると、20本以上の歯を有する人の割合は年々増加傾向にあり(表1参照)、2016年の8020達成者(※1)は51.2%(表2参照)で2人に1人以上が達成し、過去最高を記録。当初は『夢物語』とまで言われていた“2022年に50%”の目標を6年早く達成したことから、次の新しい歯科保健目標として“2022年に60%達成”が掲げられました。

予防歯科先進国といわれるスウェーデンの8020達成率は、すでに80%を超えているとされており、アメリカやオーストラリアもこれに迫っています。今高校生の皆さんが歯科医師として活躍する頃には、日本も80%を達成しているかもしれません。

(※1) 8020達成者は、75歳以上80歳未満、80歳以上85歳未満の数値から推計されている。

(※2) 80歳の平均残存歯数が20本を超えること。日本では2016年の調査時点で16.7本と推計されている(2011年は13.9本)。

歯が20本以上必要な理由は…



新概念

オーラルフレイルとは？

8020達成者が5割を超えた日本では、新しく「オーラルフレイル」という考え方を日本歯科医師会(※)が発信・啓蒙しています。オーラルフレイルとは「Oral(口の)」+「Frailty(虚弱・老衰)」を合わせた造語で、①口の健康意識が低下することで、②滑舌の低下や、むせ等の日常生活のささいな口腔トラブルが起こり、③さらなる口腔機能の低下(舌の運動機能低下等)が生じ、④最終的には物を食べられなくなり、心身の機能が低下してしまうといった一連の現象(過程)を指します。

高齢化が進む日本において、歯を残すことに加えて“オーラルフレイル”の予防を行うことが健康寿命の延伸につながります。そしてこれを支えるのが、歯と口の専門家である歯科医師なのです。オーラルフレイルの予防には、むし歯や歯周病などの適切な処置はもちろん、口の中の健康状態を“定期的に歯科医に診てもらふこと”がとても重要なのです。

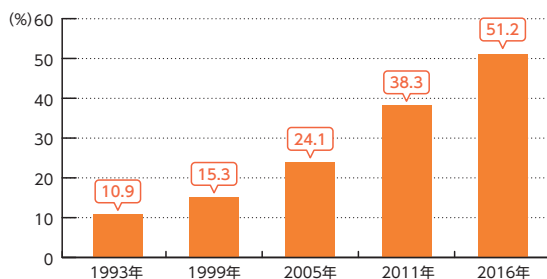
(※) 日本歯科医師会「オーラルフレイルについて」

<https://www.jda.or.jp/enlightenment/oral/about.html>

●(表1) 20本以上の歯を有する者の割合の年次推移(2016年から5年ごとに変更)

年齢(歳)	1993年	1999年	2005年	2011年	2016年	(%)
40~44	92.9	97.1	98.0	98.7	98.8	
45~49	88.1	90.0	95.0	97.1	99.0	
50~54	77.9	84.3	88.9	93.0	95.9	
55~59	67.5	74.6	82.3	85.7	91.3	
60~64	49.9	64.9	70.3	78.4	85.2	
65~69	31.4	48.8	57.1	69.6	73.0	
70~74	25.5	31.9	42.4	52.3	63.4	
75~79	10.0	17.5	27.1	47.6	56.1	
80~84	11.7	13.0	21.1	28.9	44.2	
85~	2.8	4.5	8.3	17.0	25.7	

●(表2)「8020達成者」比率推移



今後の歯科医療とは？

超高齢社会を迎えた日本では、今後、歯科医師や歯科衛生士が自宅や高齢者施設などを訪問して診療をする「訪問歯科診療」のニーズがさらに高まっていくと考えられています。

厚生労働省の公表したデータ(※1)によると、2020年に全国約68,000件の歯科診療所のうち医療保険等による訪問歯科診療を実施している施設は23,707件(34.9%)。

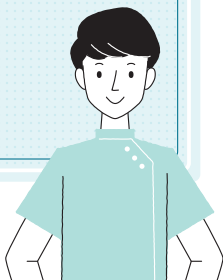
訪問歯科診療の認知率は47.0%(※2)で、自分または家族が利用したことがあると答えた人は10.7%と少なく、訪問歯科診療がまだまだ一般的ではないことがわかります。

しかし、介護が必要となった高齢者の調査(※3)によると、歯科医療や口腔健康管理が必要である高齢者は64.3%存在するものの、実際に歯科医療につながっている割合は2.4%と低く、ニーズと歯科医療の提供体制に乖離があることが課題となっています。

歯科業界では、訪問診療へのニーズ拡大はもちろん、コロナ禍で注目を集めたオンライン歯科診療など新しいサービスの提供や治療法なども求められるようになってくるでしょう。環境の変化にもなまって生まれる新しいニーズと使命を担う、次代の歯科医師の活躍が期待されています。

- (※1) 厚生労働省2022年4月公表「令和2(2020)年医療施設(静態・動態)調査(確定数)・病院報告の概況」
(※2) (社)日本私立歯科大学協会「歯科診療」および「歯科医師」に関する第5回意識調査(2020年10月)
(※3) 参照:(公社)日本歯科医師会「2040年を見据えた歯科ビジョン」(2020年10月)

口から食べることは、
生命の延長に大きく寄与する身体能力ですから、
介護を要する方々への口腔ケアは
歯科医師にとって非常に重要な職務ですが、
こうした領域の人材は現在不足しています。
また、インプラント(人工歯根)、顎関節症、
審美などの領域についても専門医が充分ではありません。
歯科医療に対する社会的ニーズの範囲が
広く深くなってきている中、
これから歯科医師を目指す皆さんが、
新しい領域の研鑽を積むことで、
自ら将来の活躍の場を
作り出していくことを期待しています。



オンライン歯科診療とは？

新型コロナウイルスの大流行に伴い、日本でも初診のオンライン歯科診療が2020年4月より可能となりました。

オンライン 歯科診療の



メリット

- 1 通院時間・待ち時間・交通費がかからない。
- 2 悩みや口の状況からアドバイスを受けられる。
- 3 歯磨き指導や自宅ケアのフォローが受けられる。
- 4 緊急性の有無を判断してもらえる。
- 5 セカンドオピニオンとして
- 6 専門家の診断を仰ぐことができる。 など

デメリット

- 1 情報量の少なさから、誤診のリスクが高くなる。
- 2 ハッキングなど個人情報漏れる可能性がある。
- 3 (郵送の場合は)薬をすぐに受け取ることができない。
- 4 スマホやパソコンの知識がある程度必要となる。 など

歯科治療は直接的な処置が多いため、一見オンライン診療はあまり意味がないようにも思えますが、最近では、歯科医師が遠隔で高齢者の食事場면을観察し、安全に食事がとれるよう摂食嚥下のアドバイスを行うなど介護施設へのオンライン歯科指導も進められています。

高齢化に伴って増加する摂食嚥下障害患者への対応は、これまでも重要な課題ではありましたが、摂食嚥下障害に対応可能な歯科医院が都市部に集中していることが、大きな障壁となっていました。オンライン診療では、この物理的な距離の制限がなくなり、離島やへき地など歯科診療の機会が少ない場所でも問診などが受けられるだけでなく、新たな感染症が発生した際にも人と接触を減らすことができるという感染予防に対するメリットもあります。

オンラインで気軽に歯科医師に相談できることで、一人ひとりが口腔の健康・衛生管理への高い意識を持って予防や早期の適切な治療につなげていく。今後はそれが当たり前の時代になっていくのかもしれない。



新型コロナ ウイルス

Q & A

Q 新型コロナウイルスと歯って関係あるの？

A 歯垢がたまっていたり口腔内の衛生状態が悪いと、ウイルスに感染しやすくなります。介護施設で、歯科衛生士が口腔内のケアをしているとインフルエンザの発症率が大幅に減少したというデータもあります。(※1)

Q コロナ禍、歯科医師は感染しやすいの？

A 実は、歯科医院内では、昼食時の感染が疑われたケースが若干あっただけで、診療に関わるクラスターの話はほとんどありません。それは歯科診療では、平時より『スタンダードプリコーション』=『感染症の標準予防策』に則った対応が取られているからではないかと言われています。

他の専門職に比べても、安全な職業と言えます。

Q 歯学部では感染症に関する勉強してるの？

A 歯科診療ではスタンダードプリコーション(感染症の標準予防策)が必須です。そのため、私立歯科大学・歯学部では新型コロナウイルス感染症が発生する前から「感染対策協議会」を設立し、高い意識を持って感染対策を講じています。歯学部の学生に対する「感染対策」の講義が行われているほか、臨床実習生、臨床研修歯科医まで歯科医療を学ぶすべてのステージで感染症に関する教育を実施しています。(※2)

参考資料 (※1)日本歯科医師会「日歯8020TV」

(※2) (一社)日本私立歯科大学協会「新型コロナウイルス感染症と歯科医療」(2020年10月)より

新たな社会貢献！

新型コロナワクチン接種に 歯科医師が協力

(公社)日本歯科医師会によると、歯科医師による新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、2021年5月～2022年12月末までの間に延べ3万3千人以上の歯科医師の協力によって191万回超のワクチン接種が行われたことがわかりました。

延べ従事歯科医師数

計**33,172人**

接種回数

計**1,912,575回**

日本歯科医師会では、かねてより行政や医師会から要請があれば全面協力することを明言しており、2021年4月に厚生労働省から協力要請があった際には、地域の歯科医師会からも「決意をもって協力する」などの力強い声が上がりました。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、医業の範疇であり、医師法上、そのための注射を歯科医師が行うことはできないとされていましたが、歯科医師は、

- 筋肉内注射に関する基本的な教育を受けていること
 - 日常的に歯茎への麻酔注射を行っていること
 - 口腔外科では実際に筋肉内注射を行うことがあること
- などにより、一定の安全性を持って接種が可能とされ、特例として歯科医師がワクチン接種の新たな担い手となりました。

このような活動が評価され、2022年度に法改正が行われ、歯科医師によるワクチン接種が法律上、明記されました。

一方、日本私立歯科大学協会では、日本歯科医師会と歩調を合わせ、2021年5月に緊急の理事会を開催して歯科医師によるワクチン接種に積極的に協力することを決定しました。

この決定を受け、各会員校では、歯科医師によるワクチン接種に加えて、地元の市町村などからの要請を受けて、地域住民の方へのワクチン接種や学外の歯科医師へのワクチン接種のための研修の実施などさまざまな協力を継続して行っています。





おわりに

歯科医師は“人々の歯と口の健康を守る”

という使命を持った大変に尊い職業です。

日本経済の低迷、ニーズの多様化、

価値観の移り変わり…

取り巻く環境がさまざまに形を変えていく中でも、

歯科医師はその手を止めることなく

継続的に地域医療に

貢献していかなくてはなりません。

その活動領域は年々大きく広がっていくとともに

果たすべき社会的役割も

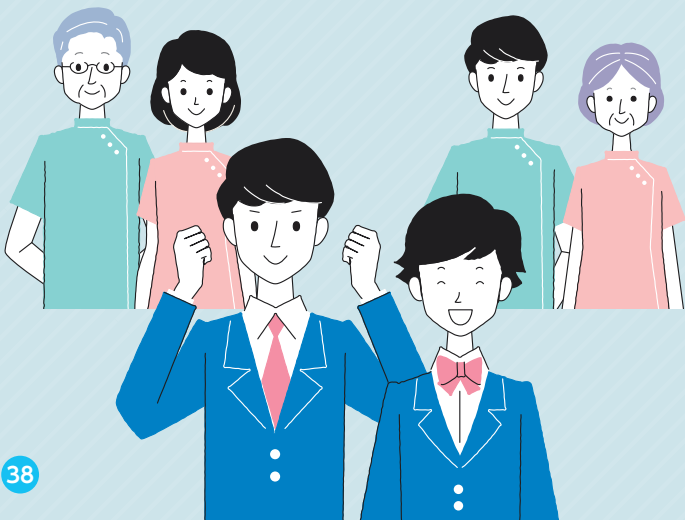
さらに重大になっていくことでしょう。

それでも将来、歯科医師となり、

“地域社会、そして未来に貢献したい。”

そのような強くて尊い志を持ったみなさんに、

ぜひ歯科医師を目指してほしいと願っています。

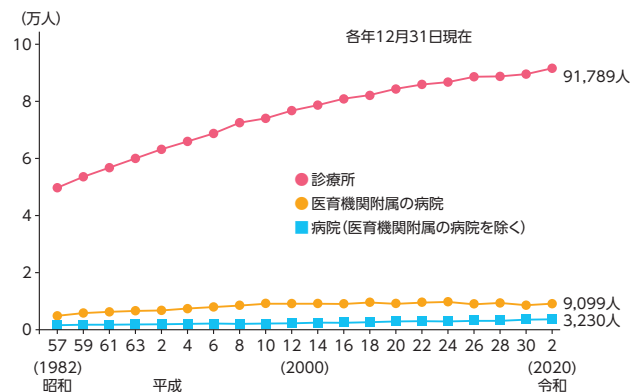


データで見る 歯科医師と歯科医療

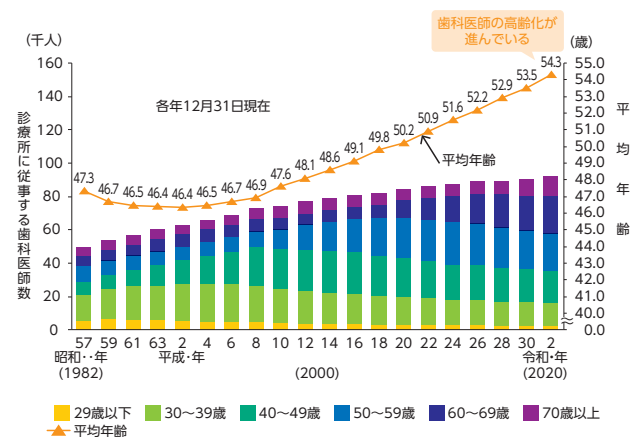
厚生労働省 2020(令和 2)年
医師・歯科医師・薬剤師調査データ



●施設の種別に見た 医療施設に従事する歯科医師数の年次推移



●年齢階級別に見た 診療所に従事する歯科医師数及び平均年齢の年次推移



●施設・業務の種別にみた歯科医師数

各年12月31日現在

	令和2年 (2020)		平成30年 (2018)	対前回		人口10万対(人)		
	歯科医師数 (人)	構成割合 (%)	歯科医師数 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)	令和2 (2020)	平成30年 (2018)	増減数
総 数 ¹⁾	107,443	100.0	104,908	2,535	2.4	85.2	83.0	2.2
男	80,530	75.0	79,611	919	1.2	63.8	63.0	0.8
女	26,913	25.0	25,297	1,616	6.4	21.3	20.0	1.3
医療施設の従事者	104,118	96.9	101,777	2,341	2.3	82.5	80.5	2.0
病院の従事者	12,329	11.5	11,672	657	5.6	9.8	9.2	0.6
病院(医育機関附属の病院を除く)の開設者又は法人の代表者	19	0.0	20	△ 1	△ 5.0	0.0	0.0	0.0
病院(医育機関附属の病院を除く)の勤務者	3,211	3.0	3,142	69	2.2	2.5	2.5	0.0
医育機関附属の病院の勤務者	9,099	8.5	8,510	589	6.9	7.2	6.7	0.5
臨床系の教官又は教員	3,514	3.3	3,303	211	6.4	2.8	2.6	0.2
臨床系の大学院生	1,546	1.4	1,575	△ 29	△ 1.8	1.2	1.2	0.0
臨床系の勤務医	4,039	3.8	3,632	407	11.2	3.2	2.9	0.3
診療所の従事者	91,789	85.4	90,105	1,684	1.9	72.8	71.3	1.5
診療所の開設者又は法人の代表者	58,867	54.8	58,653	214	0.4	46.7	46.4	0.3
診療所の勤務者	32,922	30.6	31,452	1,470	4.7	26.1	24.9	1.2
介護老人保健施設の従事者	28	0.0	34	△ 6	△ 17.6	0.0	0.0	0.0
介護医療院の従事者	6	0.0	-	6	0.0	0.0	0.0	0.0
医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者	1,646	1.5	1,607	39	2.4	1.3	1.3	0.0
医育機関の臨床系以外の大学院生	148	0.1	122	26	21.3	0.1	0.1	0.0
医育機関の臨床系以外の勤務者	900	0.8	916	△ 16	△ 1.7	0.7	0.7	0.0
医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者	213	0.2	196	17	8.7	0.2	0.2	0.1
行政機関又は保健衛生業務の従事者	385	0.4	373	12	3.2	0.3	0.3	0.0
行政機関の従事者	322	0.3	314	8	2.5	0.3	0.2	0.1
行政機関を除く保健衛生業務の従事者 ²⁾	63	0.1	59	4	6.8	0.0	0.0	0.0
その他の者	1,619	1.5	1,477	142	9.6	1.3	1.2	0.1
その他の業務の従事者	399	0.4	358	41	11.5	0.3	0.3	0.0
無職の者	1,220	1.1	1,119	101	9.0	1.0	0.9	0.1

注: 1) 「総数」には、「施設・業務の種別」の不詳を含む。
2) 血液センター、生命保険会社(嘱託医)、社会保険診療報酬支払基金等の保健衛生業務に従事している者。

●年齢階級、施設の種別にみた医療施設に従事する
歯科医師数及び施設の種別歯科医師の平均年齢

令和2(2020)年12月31日現在

	病院・診療所の計		病院						診療所	
			計		病院(医育機関附属の病院を除く)		医育機関附属の病院			
	歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)
総数	104,118	100.0	12,329	100.0	3,230	100.0	9,099	100.0	91,789	100.0
29歳以下	6,116	5.9	3,653	29.6	394	12.2	3,259	35.8	2,463	2.7
30～39歳	18,060	17.3	4,242	34.4	879	27.2	3,363	37.0	13,818	15.1
40～49歳	21,306	20.5	2,006	16.3	825	25.5	1,181	13.0	19,300	21.0
50～59歳	23,769	22.8	1,443	11.7	661	20.5	782	8.6	22,326	24.3
60～69歳	23,136	22.2	900	7.3	413	12.8	487	5.4	22,236	24.2
70歳以上	11,731	11.3	85	0.7	58	1.8	27	0.3	11,646	12.7
平均年齢	52.4歳		38.7歳		45.0歳		36.5歳		54.3歳	

●診療科(複数回答)、施設の種別にみた
医療施設に従事する歯科医師数

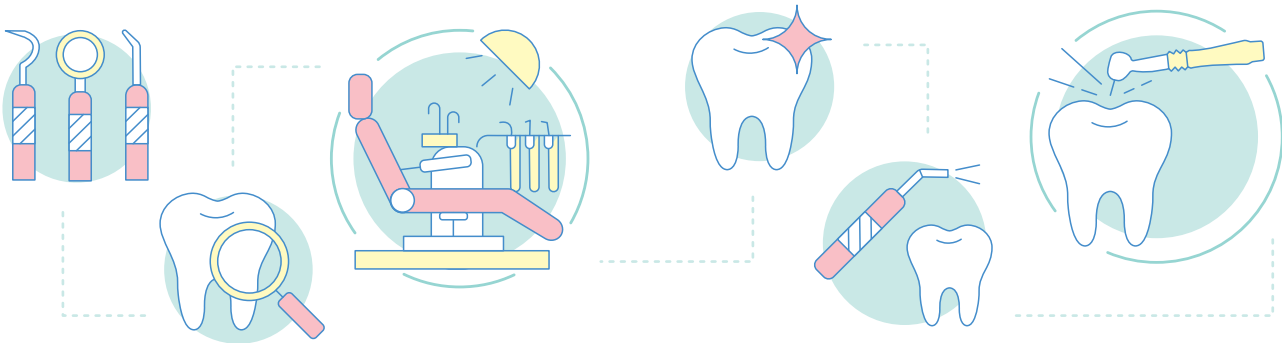
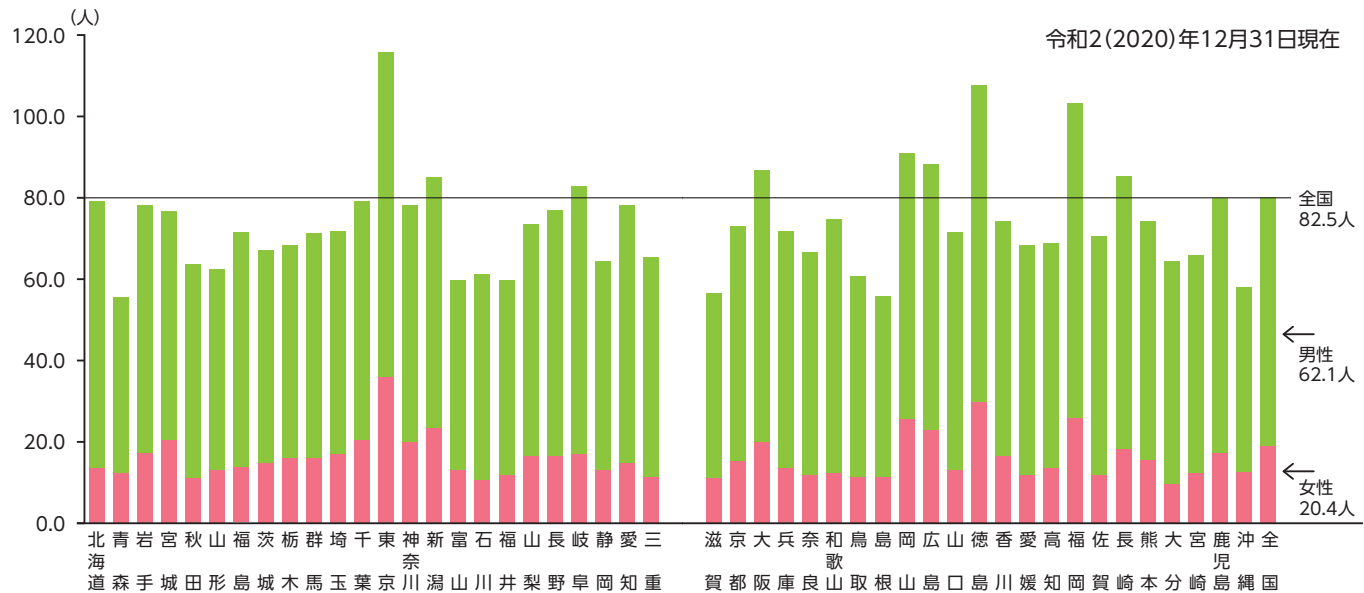
各年12月31日現在

	令和2年(2020)		平成30年(2018)		対前回		病院		診療所	
	歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)	増減数(人)	増減率(%)	令和2年(2020)		令和2年(2020)	
							歯科医師数(人)	構成割合(%)	歯科医師数(人)	構成割合(%)
総数 ¹⁾	104,118	100.0	101,777	100.0	2,341	2.3	12,329	100.0	91,789	100.0
歯科	94,022	90.3	92,214	90.6	1,808	2.0	6,291	51.0	87,731	95.6
矯正歯科	22,502	21.6	21,064	20.7	1,438	6.8	1,047	8.5	21,455	23.4
小児歯科	42,144	40.5	40,765	40.1	1,379	3.4	678	5.5	41,466	45.2
歯科口腔外科	30,756	29.5	29,057	28.5	1,699	5.8	4,235	34.3	26,521	28.9
臨床研修歯科医	1,987	1.9	1,927	1.9	60	3.1	1,751	14.2	236	0.3

注2つ以上の診療科に従事している場合、各々の科に重複計上している。

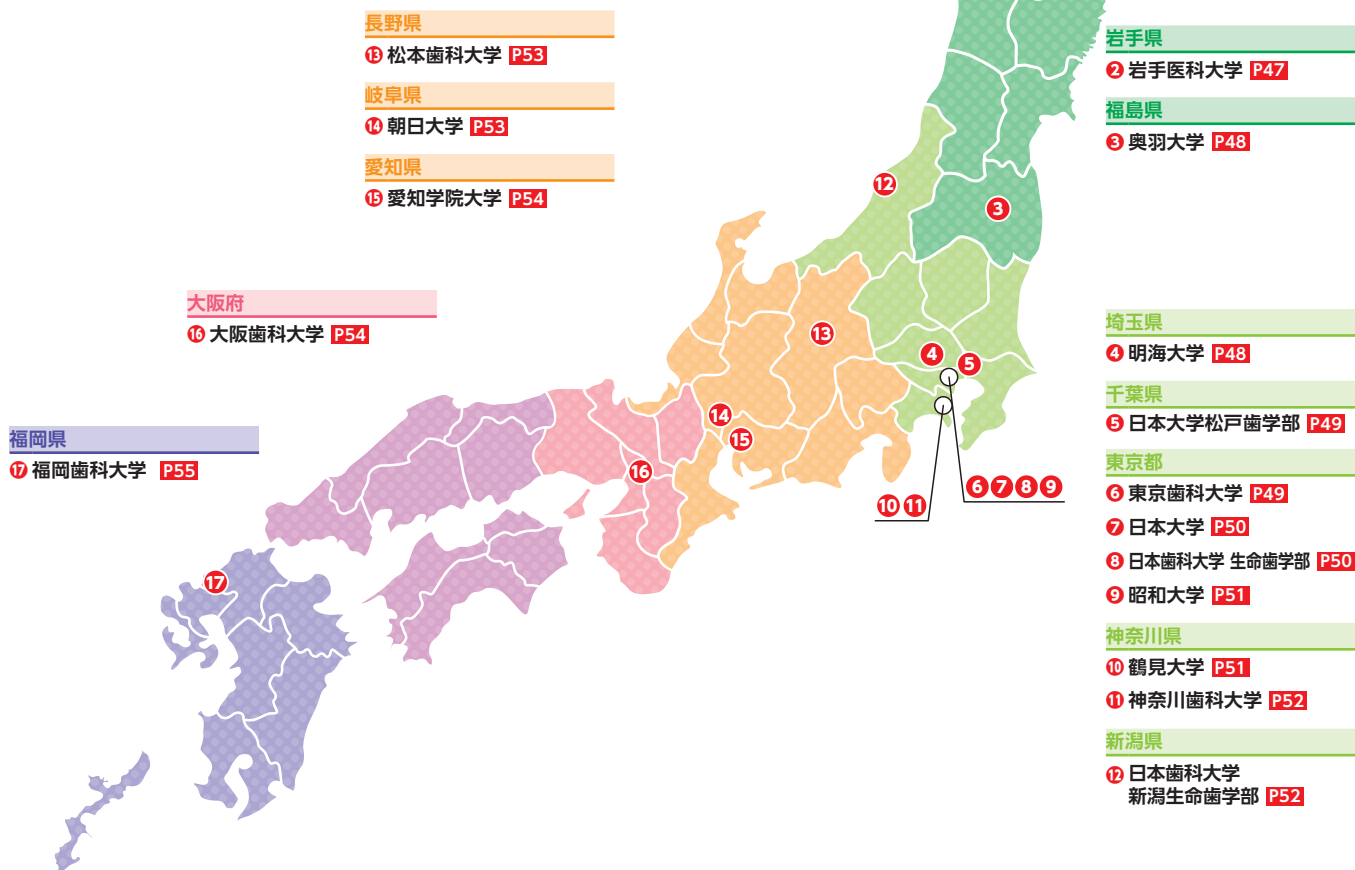
1)「総数」には、「診療科」の不詳を含む。

●都道府県(従業地)別にみた
医療施設に従事する人口10万人対歯科医師数



全国の歯科大学・ 歯学部MAP

大学名の後ろにあるページ番号 **P00** には
各大学の詳しい情報が載っています。



私立歯科大学・歯学部

大学紹介



歯科大学・歯学部の情報が満載！
志望校選びの参考にご覧ください。

北海道

北海道医療大学



〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

☎ 0120-068-222 URL <https://manavi.hoku-iryo-u.ac.jp/>



歯学部 歯学科 〈6年制〉

歯科医療の専門職として

超高齢社会を支える

新時代の歯科医師をめざして

超高齢社会にともない、歯科疾患の予防・治療のみならず、全身疾患を把握したチーム医療が求められる時代。社会的役割の変化に対応し、地域や多職種連携の視点を持つ歯科医師を養成します。

歯科医師
国家試験合格率
2022年新卒

82.1%
[全国平均77.1%]

「強力な国家試験対策」と「独自の専門教育」の二本柱

- 特色1 多職種連携、高齢者歯科診療、訪問診療などこれからの歯科医療を学ぶ
- 特色2 ヒト型患者ロボットや海外臨床研修で、最新の技術・知見を学ぶ
- 特色3 「着実な学力アップ」と「手厚いサポート」で強力な国家試験対策

岩手県

岩手医科大学



〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1

TEL 入試・キャリア支援課 019-651-5110(内線5105) URL <https://www.iwate-med.ac.jp>



最新医療、本学の特徴を活かした教育により
幅広い知識や技術を修得します

歯学部・歯学科 [6年制]

特色01 ハーバード大学と同様の先進的カリキュラム

米国・ハーバード大学と同様のカリキュラム構成を日本に合わせたのが特徴で、実際の歯科治療に沿った講義や実習を中心に先進的な教育システムを展開しています。科目の垣根をこえた知識・技術の修得を目指します。

特色02 医・薬・看護の知見と融合した総合医療教育

4学部連携により、臨床歯科学と医学部各科との関連性を学び、多面的な考え方、深く広い知識を修得。医・薬・看護の知見と歯学の融合によって、「総合的に診る」ことの重要性を基礎から身につけます。

特色03 6年間にトータルにサポートする「Society system」

Society systemは、学生と教員および学生同士の意思疎通を円滑にし、学修への取り組みや卒業後の進路など、学生生活のさまざまな問題の解決を図る制度。このsystemの採用によって、総括的にサポートできます。

〈 卒業までの目標 〉

歯科医師としてのバックグラウンドを培い、確かなものとする6年間。ハーバード大学歯学部の授業形式を取り入れた教育プログラムに加え、チーム医療を支える一員となるための多様な知識を涵養できます。

卒業後の進路 開業医、勤務医、専門医、教育者、研究者



〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1
TEL 024-932-9055(歯学部学事部) URL <https://www.ochu-u.ac.jp/>

人間性豊かな歯科医師へ

1~4年 エレクティブスタディ

興味を持った分野や科目を自ら選択して、好きなことを思い切り追究します。

4年 口腔インプラント学実習

口腔インプラントを用いた欠損歯治療の特性と基礎、臨床的知識を手技実習を通して修得します。

4年 保存修復学実習

模型実習によって硬組織疾患の治療法を体験。歯の修復措置に必要な基本的知識・技術を修得します。

5年 臨床実習

少人数のグループごとにインストラクターを配置

他職種連携を学ぶためのMedical Team研修や社会福祉施設、介護老人保健施設での学外研修を取り入れています。

特待生制度 特待生選抜入学試験の合格者は、学費を免除します。

最大6年間 授業料フルサポート

歯学部最大2,100万円免除

歯学部
定員24名

歯学部 6年制

一人ひとりに目が行き届いた実習で、実際の医療現場で役立つ実践力を養います。

附属病院で実際の診療を学ぶ臨床実習では、基礎系および臨床系の講義や実習で学んだ内容を、より専門的・実践的な知識・技術へ、少人数教育により、一人ひとりの進度に合わせてきめ細かくフォローします。



〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1番1号(坂戸キャンパス)
TEL 049-279-2852(歯学部入試事務室) URL <https://www.meikai.ac.jp>

歯学部 / 歯学科 6年制

SCHOOL OF DENTISTRY

臨床に強い
歯科医師をめざしてー。

特色1 徹底した基礎教育と少人数制

1・2年次の基礎教育では、患者様の立場になって診療するための「感性を育てる科目」を多く設置。3年次以上の専門科目の一部と病院実習を行う5年次は、10人程度の少人数制で実施します。

特色2 充実した海外研修制度

海外研修(アメリカ、イタリア、フィンランド、中国、メキシコなど・研修費用は大学が全額負担)には年間36人、5年生の4人に1人が参加。歯科医療の現状や最新事情を学びながら現地学生と交流します。

特色3 確かな技術を修得する臨床実習

臨床実習では附属病院内の診療科、PDI埼玉歯科診療所、高齢者施設などを回り、専門医の指導を受けながら診療実習を体験。高度な技術に接して、卒業後の臨床研修、歯科医師デビューに備えます。

特色4 卒業後も万全のサポート

卒業後1年以上の臨床研修が義務づけられていますが、歯学科には臨床研修のPDIがあり、治療計画や歯科医院の経営方法などを学べます。さらに開業後に対応した生涯研修(CE)制度も用意しています。



〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL 047-360-9339(入試係) URL <https://www.mascat.nihon-u.ac.jp/>

松戸歯学部 3つの特長

point 1 付属病院と連携した実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は、歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を育成します。

point 2 「医療行動科学」でプロ意識を修得

1~4年次にわたり「医療行動科学」でプロ意識を修得しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。

point 3 教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援

各学年に配置された学修サポート委員と学年担任が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫など適切なアドバイスを学生一人ひとりに行います。

2024年4月 新校舎使用開始予定



1971年に創設された松戸歯学部は、2021年に創設50周年を迎え、記念事業として新校舎を建築しています(2024年4月使用開始予定)。新校舎は、キャンパス中央に位置し、教育・研究・管理の場として松戸歯学部の中核を担う機能を集約します。特にラーニング・commonsは図書館機能を含む学修環境の中心として利用し、記念講堂は、式典や学会などに幅広く利用することを予定しています。



〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
TEL 03-6380-9528(教務課) URL <https://www.tdc.ac.jp/>

歯学部 | 歯学科 東京歯科大学の教育の特長

歯科大学最大の病院・施設運営を通し、
歯科と医科を総合的に学ぶ

すべてのキャンパスに附属病院・歯科医療センターを有する本学は、ますます重視される臨床教育を万全の体制で支援します。歯科のみならず医科を含め、総合的に学べることが最大のメリットとなっています。

高度にネットワークされた
IT教育環境

教育用Webサイトによる授業コンテンツの提供、学生のための無線LANを活用したe-Learningプログラムを開発するなど、先進的な教育プログラムで、学修環境を整備しています。

伝統の学風が生む高い人間教育

130年余の歴史のなかで、約15,000名の歯科医師を輩出しています。すべての人材は、建学者「血脈守之助の提唱した「人間教育」の下、高い人間性を育み、我が国の口腔医療に貢献しています。

少人数教育がもたらす
人と人とのつながり

きめ細やかなマンツーマン教育が本学の伝統です。学生数840名に対し、教職員1,400名が教育にあたり(2022年5月現在)、学生一人あたりの教職員の多さは他大学に類を見ません。



学修サポートの
成果は国家試験
合格率に表れる

国公立29歯学部で12年連続全国トップレベル

6年間の学習の成果が問われる歯科医師国家試験。低学年からの充実したサポートによって学生個々が積み上げた知識は、本番で発揮され、私立大学で23年連続No.1という合格率に結果として表れています。



〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13(歯学部)

TEL 03-3219-8002【教務課(入試係)】 URL <https://www.dent.nihon-u.ac.jp/>

教育の特色 歯科一元論に基づく全身と関連付けた歯学教育

10のコースによる確実な学び

都心に位置する付属歯科病院での学び

創設100年を超える歴史と伝統、令和4年に新校舎の運用開始

令和5年度より
新カリキュラムが開始します

新カリキュラムでは10のコースが学年横断的に設置され、科目間のつながりを意識した構成になっています。さまざまな学年・角度から、同一の学習内容を繰り返し学修することで、知識の定着を図ります。また、各学年に配置されたクラス担任を中心に、きめ細やかな学修支援を行っています。



▲ラーニング・コモンズ



▲グループスタディールーム



▲実習室(スキルスラボ)



▲中央中庭テラス



〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20

TEL 03-3261-8400(入試課) URL <http://www.tky.ndu.ac.jp>創立117年の歴史と伝統を誇る
日本歯科大学生命歯学部の

7つのポイント

2 創立117年の歴史と伝統

本学は、明治39(1906)年に制定された歯科医師法に基づき、明治40(1907)年に私立共立歯科医学校として創立されました。その後、日本歯科大学専門学校、旧制日本歯科大学と発展。歯科大学のプロフェッショナルとして歩みを進めています。

4 充実した附属病院での臨床実習

本学の学生は、1学年から附属病院の各科を見学し、5学年になると病院での臨床実習が始まります。



6 口腔リハビリテーション多摩クリニック

わが国初の口腔リハビリテーション施設として開院しました。摂食嚥下障害や言語障害の機能回復など、口腔のリハビリに特化した施設です。



1 東京の中心、千代田区・飯田橋

本学生命歯学部のキャンパスは東京の中心、皇居・外濠の内側の飯田橋にあります。飯田橋駅は、JR総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、地下鉄大江戸線の5路線が通り、アクセスも抜群です。恵まれた立地のもとで学ぶことができます。

3 最先端の臨床実習施設

生命歯学部では、充実した最先端の設備を備えた臨床実習室を完備しています。主に4学年の歯科臨床系の実習で使用します。



5 歯髄細胞を使用した再生医療、歯の細胞バンク

自分の歯の細胞で全身の疾患を治療する時代がすぐそこまで来ています。本学では再生医療の研究も日々行われています。



7 知的好奇心を満足させる図書館

自習用の机も充実しており、「落ち着いて勉強できる」という声も多く、学生に好評の図書館です。グループで学習できる個室も設置されています。



〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

TEL 03-3784-8026 URL <https://adm.showa-u.ac.jp>

歯学部 | 歯学科 >>> 6年制

患者さんに寄り添い、
チーム医療の中で
活躍できる
医療人を育てます

至誠を貫く
社会に貢献する
医療人へ

- 1 1年次全寮教育制度
- 2 チーム医療教育制度
- 3 クリニカルクラークシップを主体とした臨床実習制度
- 4 面倒見の良いサポート体制

学びのポイント

①8つの附属病院でチーム医療の実践力を培う

8つの附属病院での臨床実習を通じて、歯学専門教育に加え、実践的なチーム医療を体験します。

②4学部混合チームで1年次からチーム医療の実習を行う

1年次の初年次体験実習から、2年次の病院実習や施設実習、高齢者宅訪問など、段階的・継続的な4学部混合の学部連携教育によって、チーム医療マインドと幅広い視野を養います。

歯科医師
国家試験合格率(2022年最新) **88.5%** (全国平均 77.1%)

充実した
奨学制度

一般選抜入試1期の
上位合格者は
初年度の授業料が
免除されます。



〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL 045-580-8219 URL <https://support.tsurumi-u.ac.jp>

歯学部

歯学科

超高齢社会へのニーズに
対応する歯科医師の必要性

歯科医師に最も求められるのは、真に患者さんの立場に立った医療を提供すること。口腔だけでなく全身的な背景を含めて、患者さんに寄り添う医療を提供できる歯科医師を目指します。

01 短期集中カリキュラムで学びの習得を効率化

1~4年次の学習カリキュラムは前期2期、後期3期からなり、集中して学べるよう構成されています。

03 「歯」のみにとどまらず医学部レベルの学び

歯学の領域は「歯」のみにとどまらず「口腔全体」のさまざまな組織と器官に及びます。本学では全身に関する医療知識を身に付けます。

05 診療参加型の臨床実習

本学の附属病院に来院される患者さんのご協力で、5年次では指導医のもと、学生自らが患者さんを診療する「診療参加型」の臨床実習を行います。



TOPICS 編入生育成プログラムで新たなニーズに対応

歯学部では2年次からの編入制度を設けています。すでに仕事に就いていたり、異なった分野からの進路変更の方も、最短5年間で国家試験受験資格を取得し、歯科医師を目指すことができます。文系出身者をはじめとした編入生には、1年次に修得すべき理系科目や基礎医学科目について補講を行うなどサポートを徹底しています。本制度を活用することで、社会のニーズに応えられる歯科医師への道を拓くことができます。



02 入学時から始まる歯科医学の専門教育

1年次では高校の理数系科目を中心に再学習し、基礎的な科学的素養と共に、早期から歯科医学の専門分野がスタートします。

04 ICT(情報通信技術)を活用した教育

ICTを活用した教育ツールを独自に開発。4年次に行われる全国共用試験や歯科医師国家試験に備えて活用します。

06 全学年、少人数教育で手厚くサポート

全学年、学生数名につき講師1名が担当し、成績の推移に勉強方法や苦手分野の克服をアドバイスします。



〒238-8580 神奈川県横浜質市稲岡町82

TEL 046-822-9580 URL <http://www.kdu.ac.jp>

歯学部 歯学科

取得可能な資格

歯科医師国家試験受験資格



3つのPOINT

1 5Stage制で着実な学修プログラムを提供

これまでの2学期制ではなく7週を1Stageとする5Stage制を導入しています。少ない科目を集中的に学修して着実にステップアップできます。7週目は科目試験を行い、不得意科目をつけない万全のサポート体制があります。

2 学修面と生活面のダブルサポート

入学から卒業まで、学修状況や学生生活について担任制と学生支援委員会でバックアップ。日々の学修の相談やアドバイス、誰にも言えない悩みごとのカウンセリングや学生が健康を自己管理できるようサポートします。

3 いつでも視聴できる録画講義

すべての講義は録画されているため、希望すれば誰でも録画講義を視聴して不得意科目をフォローすることができます。6年次になり国家試験対策向けにあらためて視聴するなど、学生も活発に利用しています。

特待生制度 給付

2年以上以上の学生を対象に1年間の学業成績が優秀(成績上位3位まで)で、模範になる生活態度といった選考条件をもとに、次年度の授業料の半額を奨学金として支給する制度です。高校までの成績は関係なく大学入学後の評価で決まります。



〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780

TEL 0263-54-3210 URL <https://www.mdu.ac.jp>

充実した環境・設備のもと、心豊かな医療人を育成

教育方針 緑あふれる学園で 学識と技量、人間性を育む

キャンパスは日本有数の自然環境を誇り、歯科医学教育に必要な最新機器・設備も充実。「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」を教育方針に、優れた学識と技量、そして人間性を備えた、社会に貢献できる人材を育成します。



カリキュラム 歯科医師国家試験 新卒者の合格率が急上昇!

独自のカリキュラムによって初年次から学生自ら能動的に学ぶ姿勢を育てています。ウイークリーテストの実施、特待生制度の導入などにより、歯科医師国家試験の新卒合格率が急伸! 実力躍進の松本歯科大学です。



学生寮 教育支援体制の一環として 学内に快適な寮を完備

英国のババリックスクールを範として学生寮「Campus Inn」を設置。医療人となるにふさわしい学習習慣と生活態度を身につけられるよう、体制を整えています。部屋は個室で家具・家電付き、快適な居住空間を提供します。



〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8

TEL 025-267-1500 URL <https://www.ngt.ndu.ac.jp>

日歯新潟6つの特長

1 充実した臨床実習【新潟病院】

新潟病院での臨床実習では、きめ細やかな実習を行っています。特色ある実習として、訪問歯科診療を行っています。実際の医療、退院時カンファレンスに参加するなど、地域医療の現場で連携の重要性を学んでいます。

2 全国に先駆けた訪問歯科診療

新潟病院では、開院以来地域歯科医療の拡充に務めており、1987年から全国歯科大学に先駆けて「訪問歯科診療」を行っています。

3 最新の設備を誇る教育環境

最新のIT機器やシステムを備えたマルチメディア臨床基礎実習室は第1学年から実習で使います。



4 学びに適した学習室

本学には学生専用の学習室があり、72席のパーテーションで区画された自習コーナーと3室のグループ学習室が備えられています。パーテーションがあることで、より集中して学習することができます。



5 盛んな国際交流

日本歯科大学には世界に18の姉妹校・協定校があります。特にカナダにあるプリティッシュ・コロンビア大学(UBC)とは積極的に交流を行っています。

6 国内唯一の医学博物館

医の博物館は、日本初の、また唯一の医学博物館として開館。歴史的資料(史料)を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的としています。



〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

TEL 058-329-1088(入試広報課) URL <https://www.asahi-u.ac.jp/>

世界で学べる歯学部

国際的視野に立って活躍できる歯科医師を養成するため、キシリトールの虫歯予防効果を発見したフィンランドのトゥルク大学を始め、アメリカ、イタリアなど歯科分野で世界をリードする海外提携大学との交換留学プログラムを実施。提携大学からも学生を受け入れ、活発な国際交流を行っています。

充実した 臨床実習 制度

3つの併設医療機関のうちの、26の診療科をもつ朝日大学病院では、内科や外科など、あらゆる分野の医療と連携する歯科医療について学ぶことができます。



朝日大学病院▶



〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100(歯学部)
TEL 052-751-2561(代表) URL <https://www.agu.ac.jp>

歯学部 歯学科

確かな基礎知識と技術を備え、
歯科医療をリードする歯科医師に。



施設 末盛キャンパスに新校舎

2023年、歯科医療の最前線と一体化した新校舎が誕生。
～歯科医師を志す学生ファーストのキャンパスが完成～
歯学部附属病院のある末盛キャンパスに、2023年10月、新しい校舎「臨床教育研究棟」が誕生します。渡り廊下で附属病院とつながっており、臨床実習と国家試験対策のための拠点となる都市型キャンパスです。

学生支援 安心のチューター制度

悩むより相談！先生と一緒に解決します。



学生生活から学びのことまで、なんでも相談できるチューター制度が、2022年度からスタートしました。充実した6年間を過ごすためのサポート体制を整えています。

学び 多職種連携教育

チーム医療の一員であることを実感



次世代の歯科医師に必要な「チーム医療」を理解するために、近隣医学部や保健衛生学部、本学の薬学部や短大部歯科衛生科の学生と一緒に学びます。

実習 臨床実習

診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ)を採用



中部地区最大の歯科病院である歯学部附属病院で実施します。学生は実際の診療に主体的に参加。患者さん一人ひとりに適した治療を考え、実践を積み重ねます。

受賞 日本補綴歯科学会・学生技能コンペティション

本学部の代表者が、診断能力と技能力を証明。



全国の歯学部学生を対象とした臨床技能試験である日本補綴歯科学会(JPS)学生技能コンペティション「第4回JPS student clinical skills competition」で、本学の学生が最優秀賞2位を受賞しました。



〒814-0193 福岡県福岡市早良区田村2丁目15番1号
TEL 092-801-1885(入試係直通) URL <https://www.fdcnet.ac.jp/>

教養と良識を育む6年一貫教育で、人間性豊かな医療人を育成。

6年一貫教育 3つの柱

口腔歯学部 / 口腔歯学科(6年制)

本学では、「教養教育」、「基礎医学教育」、「専門教育」を3本の柱とする6年一貫教育をとっています。この教育システムにより、教養と良識をそなえた有能な歯科医師を育成。口腔医学を実践できる歯科医師として必要な倫理的態度、専門知識、技能を修得します。



1 学年

幅広い教養と豊かな人間性を養う
教養科目を中心に
カリキュラムを構成。

2 学年

医学の領域に足を踏み入れ、
人体の構造と機能を学びます。

3 学年

口腔医学で最も重要な項目である
的確な「診断」と「治療」の基本を
修得します。

4 学年

これまでに得た知識や技能を
統合し、口腔医学をより深く
実践的に学びます。

5-6 学年

4年間の学びのすべてを結集し、
医療の現場で口腔医学を実践します。

教育設備

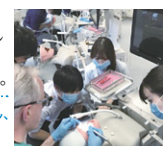
充実した学習環境で最先端の技術や知識を学びます。



シミュレーション実習用
患者型ロボット
診療中の緊急時取るべき行動を学習できる患者型ロボットを導入。

国際交流

海外の大学と
学生相互交流を実施し
世界に通用する
歯科医師を育成します。



世界水準の歯科医師をめざし、
Global Standardを
修得します。



〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8-1
TEL 072-864-5511 URL <https://www.osaka-dent.ac.jp/>



歯学部 歯学科

基礎から臨床まで6年間一貫した
「系統講義」と、理解を深める「統合講義」で
歯科医学を網羅的に吸収します。

INTERNATIONAL EXCHANGE
国際交流

世界トップレベルの
16大学などの
交流協定



海外の大学などとの
交流を通して、
医療人としての高い技術と
人間力を養います。

特色ある学び(ピックアップ)

アーリーエクスポージャー
(早期臨床体験学習)

FEATURE 01 入学後まもない時期に、附属病院で実際の医療現場を体験します。早いうちに歯科医師となる使命感に目覚め、これから始まる専門教育への関心と吸収力を育みます。



歯科矯正学

FEATURE 02 矯正歯科臨床に携わる際に、不正咬合の患者様について、その病因、病態を知り、診査・検査と診断法、矯正治療法、術後の評価法を理解できるよう、知識や技術を習得します。

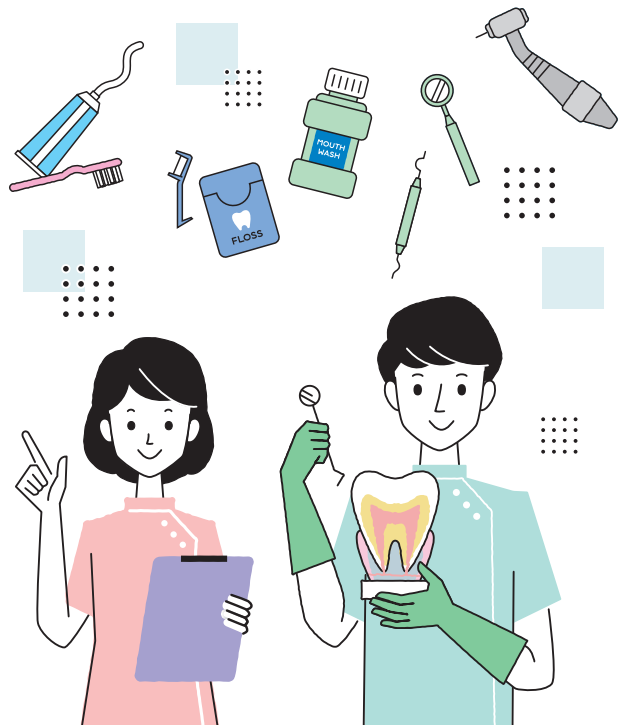
チェアサイド教育システム
(臨床実習)

FEATURE 03 医療実習を通じて患者さんと向き合い、歯科医師としての自覚を養います。経験豊富な指導医がそばで指導し、実践的な技能を磨きます。



国家試験対策

FEATURE 04 国家試験の傾向を分析し、理解・反復・記憶の3ステップで学習をサポート。試験までの集中力とモチベーションを保つ体制を大学全体で整えています。



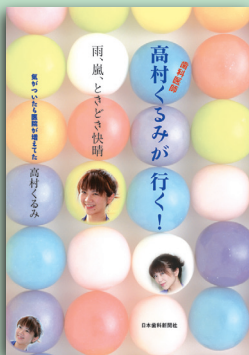


歯科専門新聞社から見た

歯科医師に向くのは こんな人！

- ☐ 健康に興味がある
- ☐ 人と関わる仕事がしたい
- ☐ 仕事の効果を実感したい
- ☐ 夜間の勤務は避けた
- ☐ カラダを動かすのが好き
- ☐ 全国どこでも働けるスキルがほしい
- ☐ 人から尊敬される仕事がしたい
- ☐ 機械いじりが好き

当てはまる項目が多いほど
歯科医師に向いているかも！



歯科医師

高村くるみが行く！

雨、嵐、ときどき快晴

高村くるみ著

B6判／336p

定価 3,080円(本体2,800円+10%税)

人間力がアッパする波乱万才エッセイ

歯科大学卒業後から、複数の医院を持つ立場になるまで、「横領」「大病」など、数々の苦難を乗り越えつつ、歯科医師として成長し、経営的な視点を磨いていく、涙と笑いのエッセイ。

歯科新聞 書籍 🔍

日本歯科新聞社

東京都千代田区神田三崎町 2-15-2
TEL 03-3234-2475 / FAX 03-3234-2477

歯学部 へ行こう!!

2023 **Wing** ウイング

- 発行日／2023年4月1日
- 企画・編集／(株)メディア・サポート
〒001-0032 札幌市北区北32条西9丁目1-6
- 発行／Wing進学情報センター
☎0120-122-185 FAX011-752-1184
- 印刷・製本／大日本印刷株式会社